

# 2019年 3月期 中間説明会



平成27年度  
地球温暖化防止活動環境大臣表彰



株式会社エフピコ  
2018年 11月7日

# 本資料取扱のご注意

本説明会のプレゼンテーションおよび配布資料に掲載する情報に関しまして、細心の注意を払っております。将来の予測等に関する情報は、現時点で入手可能な情報にもとづき、当社が判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

本説明会の配布資料に掲載する情報は、**無断での引用や転載、複製は禁じられております。**

# =目次=

◆ <u>実績及び計画</u>	専務取締役経理財務本部長	池上 功	.....	4
◆ <u>企業価値拡大に向けて</u>	代表取締役社長	佐藤 守正	.....	15
◆ 添付資料			.....	45

# 2019年3月期 第2四半期累計 実績

---

専務取締役 経理財務本部長  
池上 功

# 決算概要

(2019年3月期 第2四半期累計 実績)

単位: 百万円	上期 実績							上期 計画			通期 計画		
	2018年3月期		2019年3月期					2019年3月期			2019年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	増減	前年比	数量	計画	構成比	計画比	計画	構成比	進捗率
トレー	14,848	17.2	16,062	17.9	+1,213	108.2%	103.3%	15,720	17.7	102.2%	31,570	17.6	50.9%
弁当・惣菜	47,682	55.1	50,265	56.1	+2,582	105.4%	102.9%	49,880	56.0	100.8%	100,670	56.2	49.9%
小計	62,531	72.2	66,327	74.0	+3,796	106.1%	103.1%	65,600	73.7	101.1%	132,240	73.9	50.2%
その他製品	1,671	1.9	1,664	1.9	△6	99.6%		1,720	1.9	96.8%	3,410	1.9	48.8%
製品売上高	64,202	74.2	67,991	75.9	+3,789	105.9%		67,320	75.6	101.0%	135,650	75.8	50.1%
包装資材	18,574	21.5	18,698	20.9	+123	100.7%		19,580	22.0	95.5%	39,120	21.9	47.8%
その他商品	3,778	4.4	2,886	3.2	△891	76.4%		2,100	2.4	137.5%	4,230	2.4	68.2%
商品売上高	22,353	25.8	21,585	24.1	△767	96.6%		21,680	24.4	99.6%	43,350	24.2	49.8%
売上高	86,555	100.0	89,577	100.0	+3,021	103.5%		89,000	100.0	100.6%	179,000	100.0	50.0%
営業利益	6,287	7.3	6,160	6.9	△127	98.0%		6,400	7.2	96.3%	14,300	8.0	43.1%
経常利益	6,628	7.7	6,483	7.2	△145	97.8%		6,650	7.5	97.5%	14,800	8.3	43.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,421	5.1	4,345	4.9	△75	98.3%		4,460	5.0	97.4%	9,900	5.5	43.9%

過去最高  
売上高 4期連続  
過去最高更新

償却前経常利益 12,306 12,989 +683 105.6% 13,250 98.0% 28,200 46.1%

## ■ 販売

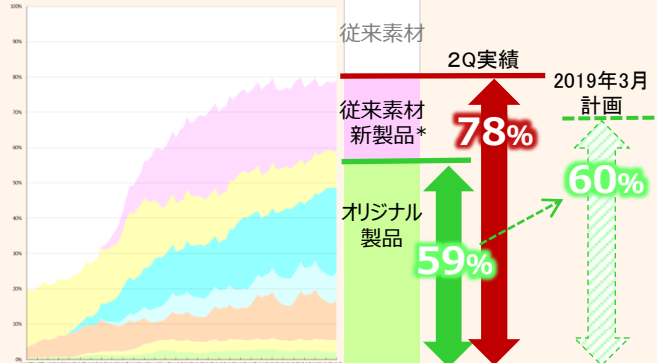
### 製品>

- ・レンジマーケットが通年の売場として定着
- ・人手不足対応など、高付加価値製品の拡充

### 商品>

- ・MD商品の拡大強化
- ・不採算取引の見直し

## ◇製品売上構成比 推移



## ◇実績前年比

	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	通期 期初計画
製品売上高	105.4%	106.4%	105.9%	104.7%
製品枚数	103.9%	102.2%	103.1%	104.0%
経常利益	86.7%	106.8%	97.8%	109.2%

# 経常利益 利益増減 (2019年3月期 第2四半期 進捗状況)

単位：億円

2018年3月期

通期 135.5

上期 66.3

下期 69.2

上期 前期比

**-1.5**

(1Q -3.9、2Q +2.4)

計画比 **-1.7**

**原料価格 -14.8**

(1Q -6.8、2Q -8.0)

計画比

-0.8

輸入PET原料値上り

**販売価格 +13.6**

(1Q +1.3、2Q +12.3)

-0.4

直近の原料値上り分を反映し  
価格改定時期のずれ込み

**販売活動 +4.5**

(1Q +3.8、2Q +0.7)

**生産 -0.5**

(1Q -0.2、2Q -0.3)

**-1.5**

-0.5

(1Q -0.4、2Q -1.1)

**物流 -1.5**

(1Q ±0.0、2Q -1.5)

-0.5

西日本豪雨に伴う鉄道貨物輸送停止により  
関西以西の運賃上昇

**グループ会社 +0.5**

(1Q -0.2、2Q +0.7)

改善効果 +10.3

人件費・労務費 -0.2

減価償却費 -8.0

電力料 -3.6

**経費増減 -3.3**

(1Q -1.8、2Q -1.5)

人件費 +0.2

減価償却費 -0.3

その他 -3.2

2019年3月期

上期 64.8

下期見通し 83.2

通期見通し 148.0

# 経常利益 見通し (2019年3月期計画)

単位：億円

2018年3月期

通期 135.5

上期

下期  
見通し

上期 66.3

下期 69.2

原料価格 **-30.8**

計画比

-4.8

上期差異

-0.8

下期見通し変更点

輸入PET原料の値上り -4.0

-14.8

-16.0

販売価格 **+41.6**

+3.6

-0.4

販売価格への転嫁  
(交渉実施済み) +4.0

+13.6

+28.0

販売活動 **+11.7**

+1.7

±0.0

販売数量・MIX改善 +1.7

+4.5

+7.2

前期比

**+12.5**

±0.0

上期 -1.5  
下期 +14.0

-1.7  
+1.7

生産 **-2.0**

物流 **-1.5**

-0.5

**-2.5**

-0.5

改善効果 +22.0

人件費・労務費 -4.9

減価償却費 -15.6

電力料 -4.0

-0.5

-1.5

-1.5

±0.0

+0.5

+0.5

グループ会社 **+1.0**

経費増減 **-7.5**

人件費 -2.1

減価償却費 -0.8

その他 -4.6

-3.3

-4.2

2019年3月期

上期 64.8

下期見通し 83.2

通期見通し 148.0

# 設備投資・研究開発費

(2019年3月期 第2四半期累計 実績)

単位: 百万円	上期 実績				上期 計画		通期 計画	
	2018年3月期	2019年3月期			2019年3月期		2019年3月期	
	実績	実績	増減	前年比	計画	計画比	計画	進捗率
有形固定資産	15,961	6,223	△9,737	39.0%	9,650	64.5%	17,950	34.7%
無形固定資産	164	207	+42	126.0%	50	414.9%	350	59.3%
<b>設備投資</b>	<b>16,125</b>	<b>6,431</b>	<b>△9,694</b>	<b>39.9%</b>	<b>9,700</b>	<b>66.3%</b>	<b>18,300</b>	<b>35.1%</b>
減価償却費	5,677	6,506	+828	114.6%	6,600	98.6%	13,400	48.6%
研究開発費	580	553	△26	95.4%	610	90.8%	1,220	45.4%

## 【主な設備投資】

単位: 百万円 投資総額 2019年3月期 上期実績  
通期計画

### 世界初のオリジナル製品生産に対する投資

◆ OPET製造設備のエコ化 350 300

### 販売量拡大に対する投資

◆ 自動化設備の導入 570 5

◆ エコAPET生産工場(筑西) 2019年 秋 完成予定 4,000 1,260 -

◆ グループ会社拠点の整備・増強

フィルム印刷工場 2018年 3月 完成 4,750 2,020 1,950

リサイクルペレット増産設備 1,240 176

広島事務所兼倉庫 2018年 10月 完成 1,450 950 388

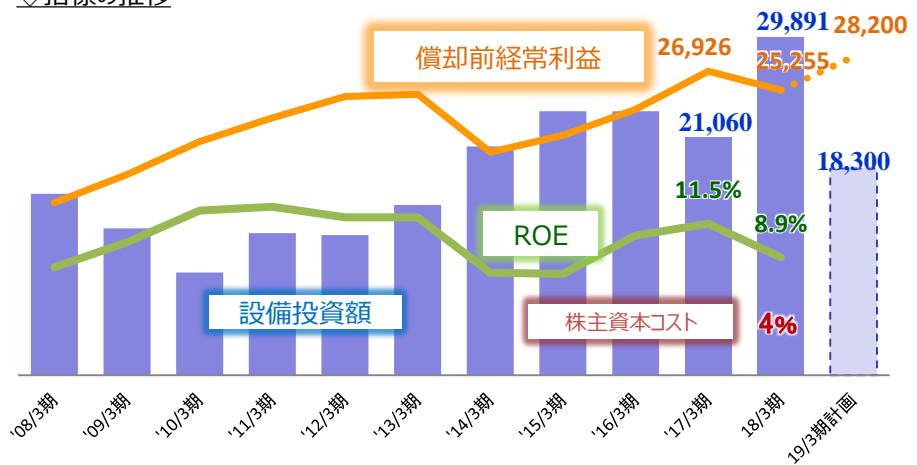
エフピコインターパック物流倉庫 2018年 12月 完成予定 790 680 0

本社 2019年 2月 完成予定 920 880 86

◆ 金型 2,210 638

◆ IT投資 510 163

## ◇指標の推移



※ROE = 当期純利益 ÷ 自己資本



# 貸借対照表

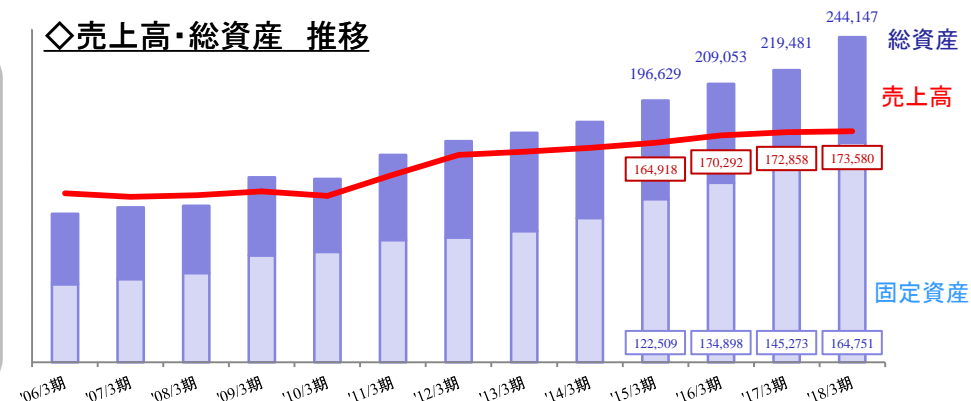
(2019年3月期 第2四半期累計 実績)

単位: 百万円	前連結会計年度	当第2四半期連結会計期間			
	2018年3月期 2018/3/31	2019/9/30	増減	2019年3月期 前年比	主な増減内訳
流動資産	79,395	83,835	+4,439	105.6%	現金及び預金 +4,071 受取手形及び売掛金 +1,016 未収入金 △715
固定資産	164,751	164,905	+153	100.1%	
資産合計	244,147	248,740	+4,593	101.9%	
流動負債	77,174	74,893	△2,281	97.0%	短期借入金 +771 未払金 △4,329 未払消費税等 +973 リース債務 △154
固定負債	60,752	64,901	+4,148	106.8%	長期借入金 +4,984 リース債務 △889
負債合計	137,927	139,794	+1,866	101.4%	
純資産合計	106,219	108,945	+2,726	102.6%	利益剰余金 +2,650
負債純資産合計	244,147	248,740	+4,593	101.9%	

自己資本比率 43.6%

- 資産 世界初のオリジナル製品の能力増強と安定供給への戦略投資
- 負債 戦略投資の原資として借入金の活用
- 純資産 経営体質の充実強化  
事業拡大に向けた機動的な対応への備え

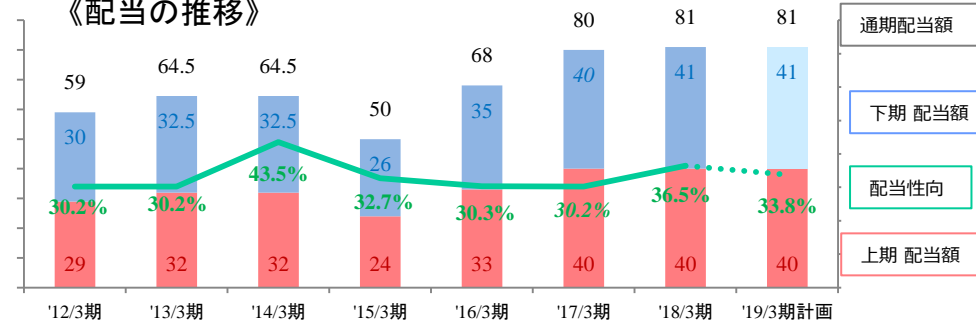
◇売上高・総資産 推移



単位: 百万円	上期	
	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績 主な内訳
営業活動によるC/F	4,014	12,068 税金等調整前当期利益 6,366 減価償却費 6,506 売上債権の増加 △ 1,014 たな卸資産の増加 246 法人税等の支払額 △ 2,181
投資活動によるC/F	△ 9,500	△ 10,567 有形固定資産の取得 △ 9,640
フリーキャッシュフロー	△ 5,485	1,501
財務活動によるC/F	5,691	2,570 短期借入金の純増減額 △ 800 長期借入れによる収入 15,000 長期借入金の返済 △ 8,443 リース債務の返済 △ 1,487 配当金の支払額 △ 1,698
現金及び現金同等物の増減額	205	4,071
現金及び現金同等物の期末残高	18,350	19,731

- 営業CF 堅調な利益確保
- 投資CF 収益基盤構築に向けた戦略投資を実施
- 財務CF 戦略投資の原資として借入金が増加  
継続的に安定した配当の実施

### 《配当の推移》



# 2019年3月期 計画

---

# 決算計画概要 (2019年3月期 計画)

単位: 百万円	通期 実績		通期 計画				上期 計画			
	2018年3月期		2019年3月期				2019年3月期			
	実績	構成比	計画	構成比	増減	前年比	計画	構成比	増減	前年比
トレー	29,964	17.3	31,570	17.6	+1,605	105.4%	15,720	17.7	+871	105.9%
弁当・惣菜	96,287	55.5	100,670	56.2	+4,382	104.6%	49,880	56.0	+2,197	104.6%
小計	126,252	72.7	132,240	73.9	+5,987	104.7%	65,600	73.7	+3,068	104.9%
その他製品	3,314	1.9	3,410	1.9	+95	102.9%	1,720	1.9	+48	102.9%
製品売上高	129,566	74.6	135,650	75.8	+6,083	104.7%	67,320	75.6	+3,117	104.9%
包装資材	37,293	21.5	39,120	21.9	+1,826	104.9%	19,580	22.0	+1,005	105.4%
その他商品	6,720	3.9	4,230	2.4	△2,490	62.9%	2,100	2.4	△1,678	55.6%
商品売上高	44,014	25.4	43,350	24.2	△664	98.5%	21,680	24.4	△673	97.0%
売上高	173,580	100.0	179,000	100.0	+5,419	103.1%	89,000	100.0	+2,444	102.8%
営業利益	12,884	7.4	14,300	8.0	+1,415	111.0%	6,400	7.2	+112	101.8%
経常利益	13,548	7.8	14,800	8.3	+1,251	109.2%	6,650	7.5	+21	100.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,178	5.3	9,900	5.5	+721	107.9%	4,460	5.0	+38	100.9%
償却前経常利益	25,255		28,200		+2,944	111.7%	13,250		+943	107.7%

## ■ 販売

製品> 当社オリジナル製品及び新製品の売上構成比を高め、収益の安定化  
自動化およびIT・物流インフラ活用による省人化

出荷枚数 : 前年比104%の伸長

トレー容器 : リサイクル原料製品を中心に販売拡大

弁当・惣菜容器 : 耐寒・耐熱等の機能を備えたオリジナル製品を中心に、  
新機能容器・新デザイン容器の売上増加

商品> MD商品による収益性向上  
不採算取引の見直し

## ◇ 生産

関東エコペット工場の稼働により、エコAPETの生産能力強化  
産業用ロボット導入による省人化

## ◇ 物流

全国をフルカバーする物流ネットワークを最大限に活用  
音声ピッキングシステムによる作業生産性向上

## ◇ ESG

地上資源の循環および障がい者の雇用を推進

# 経常利益 利益増減 (2019年3月期 計画)

単位: 億円

2018年3月期

通期 135.5

上期 66.3

下期 69.2

前期比  
**+12.5**

上期 +0.2  
下期 +12.3

原料価格 **-26.0**

-14.0

-12.0

販売 **+48.0**

販売価格 (2/26発表 6/1より10%にて値上交渉中)  
MIX改善、数量伸長

+18.5

+29.5

生産 **-2.0**

-2.0

-0.5

-1.5

物流 **-1.0**

改善効果 +22.9  
人件費・労務費 -7.1  
減価償却費 -16.3  
電力料 -1.5

-1.0

±0.0

グループ会社 **+1.0**

値上含む

+0.5

+0.5

経費増減 **-7.5**

人件費 -3.4  
減価償却費 -0.7  
その他 -3.4

-3.3

-4.2

2019年3月期

上期見通し 66.5

下期見通し 81.5

通期見通し 148.0

# 設備投資・研究開発費 計画 (2019年3月期 計画)

	通期 実績	通期 計画			上期 計画		
	2018年3月期 実績	2019年3月期			2019年3月期		
単位:百万円	実績	計画	増減	前年比	計画	増減	前年比
有形固定資産	29,342	17,950	△11,392	61.2%	9,650	△6,311	165.4%
無形固定資産	549	350	△199	63.7%	50	△114	329.4%
設備投資	29,891	18,300	△11,591	61.2%	9,700	△6,425	166.2%
減価償却費	11,706	13,400	+1,693	114.5%	6,600	+922	86.0%
研究開発費	1,197	1,220	+22	101.9%	610	+29	95.2%

## 【主な設備投資】

単位:百万円 投資総額 2019年3月期 計画

世界初のオリジナル製品生産に対する投資

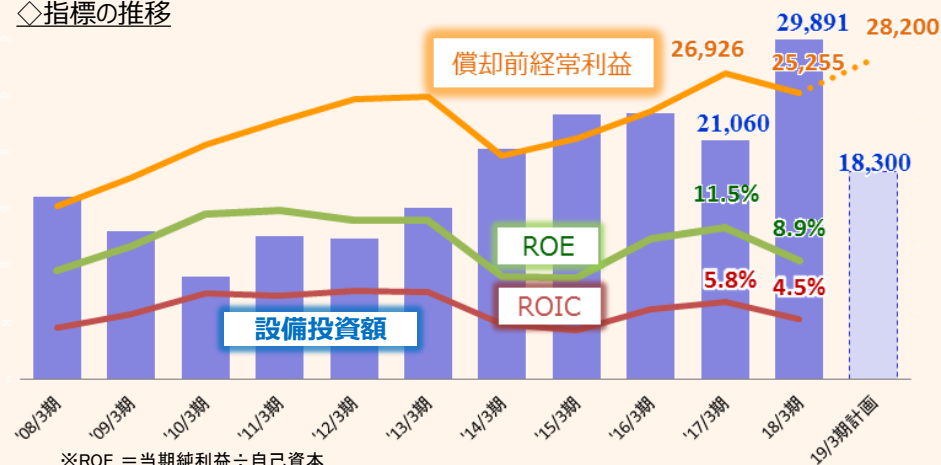
- ◆ OPET製造設備のエコ化

販売量拡大に対する投資

- ◆ 自動化設備の導入
- ◆ エコAPET生産工場(筑西) 2019年 秋 完成予定 4,000
- ◆ グループ会社拠点の整備・増強
- ◆ フィルム印刷工場 2018年 3月 完成 4,750
- ◆ リサイクルペレット生産設備
- ◆ 広島事務所兼倉庫 2018年 10月 完成予定 1,450
- ◆ エフピコインターパック本社新築 2019年 2月 完成予定 920
- ◆ 金型
- ◆ IT投資

投資総額	2019年3月期 計画
2019年 秋 完成予定	4,000
2018年 3月 完成	4,750
2018年 10月 完成予定	1,450
2019年 2月 完成予定	920
金型	2,210
IT投資	510

## ◇指標の推移



※ROE = 当期純利益 ÷ 自己資本  
 ※ROIC = NOPAT (税引後営業利益) ÷ 投下資本 (純資産 + 有利子負債)

# 企業価値拡大へ向けて

---

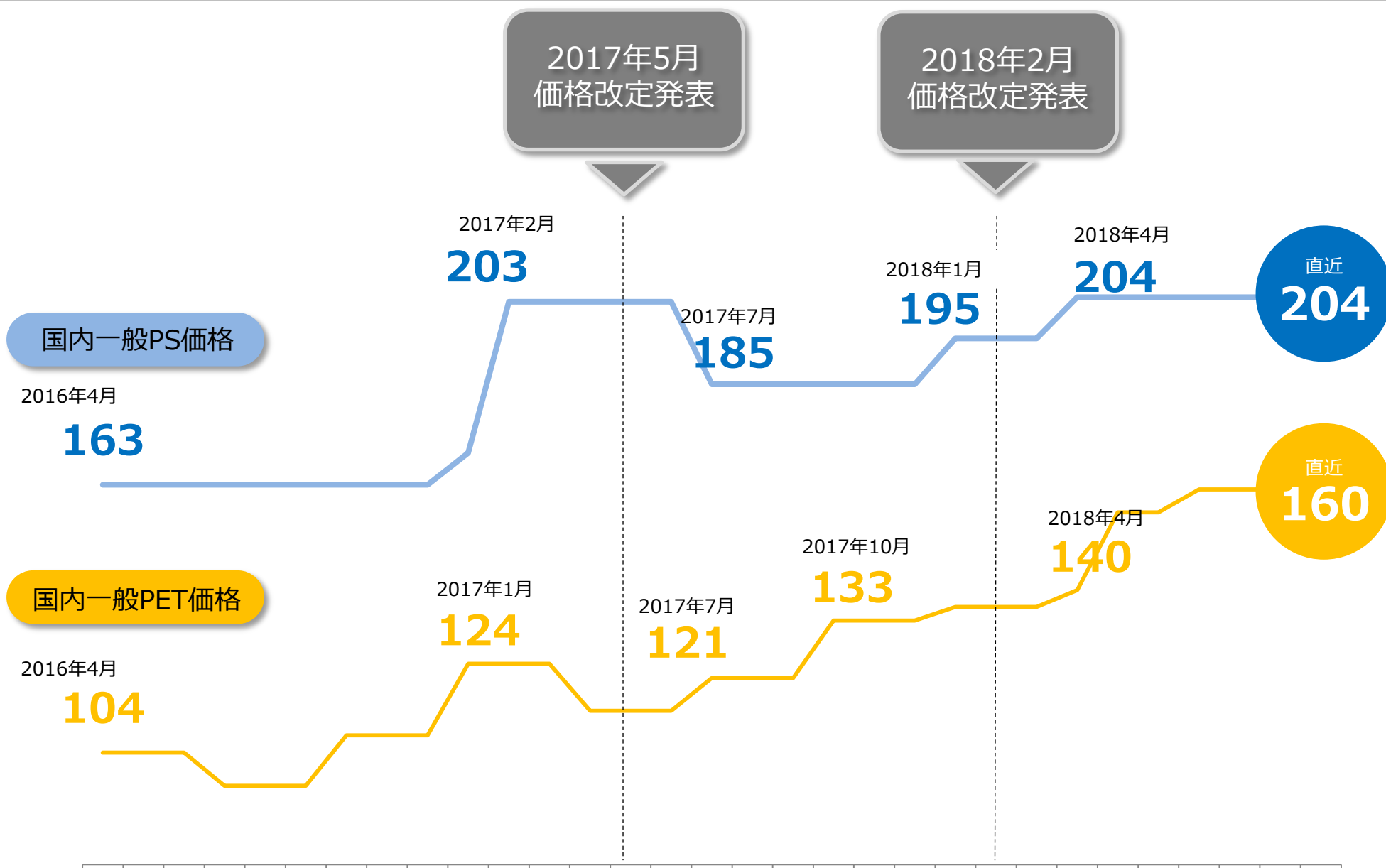
代表取締役社長

佐藤 守正



株式会社 **エフピコ**

# 原料価格動向 および 製品価格改定





# 小売業界を取り巻く状況

足元の  
潮流

## 小売の収益力改善

統合

不採算部門の立て直し

客数減少

VS

客単価上昇

### 今後の潮流

中食の拡大

人手不足への対応

ESG・SDGsへの対応

レジ袋の有料化

軽減税率導入

### エフピコの対応

レンジ対応

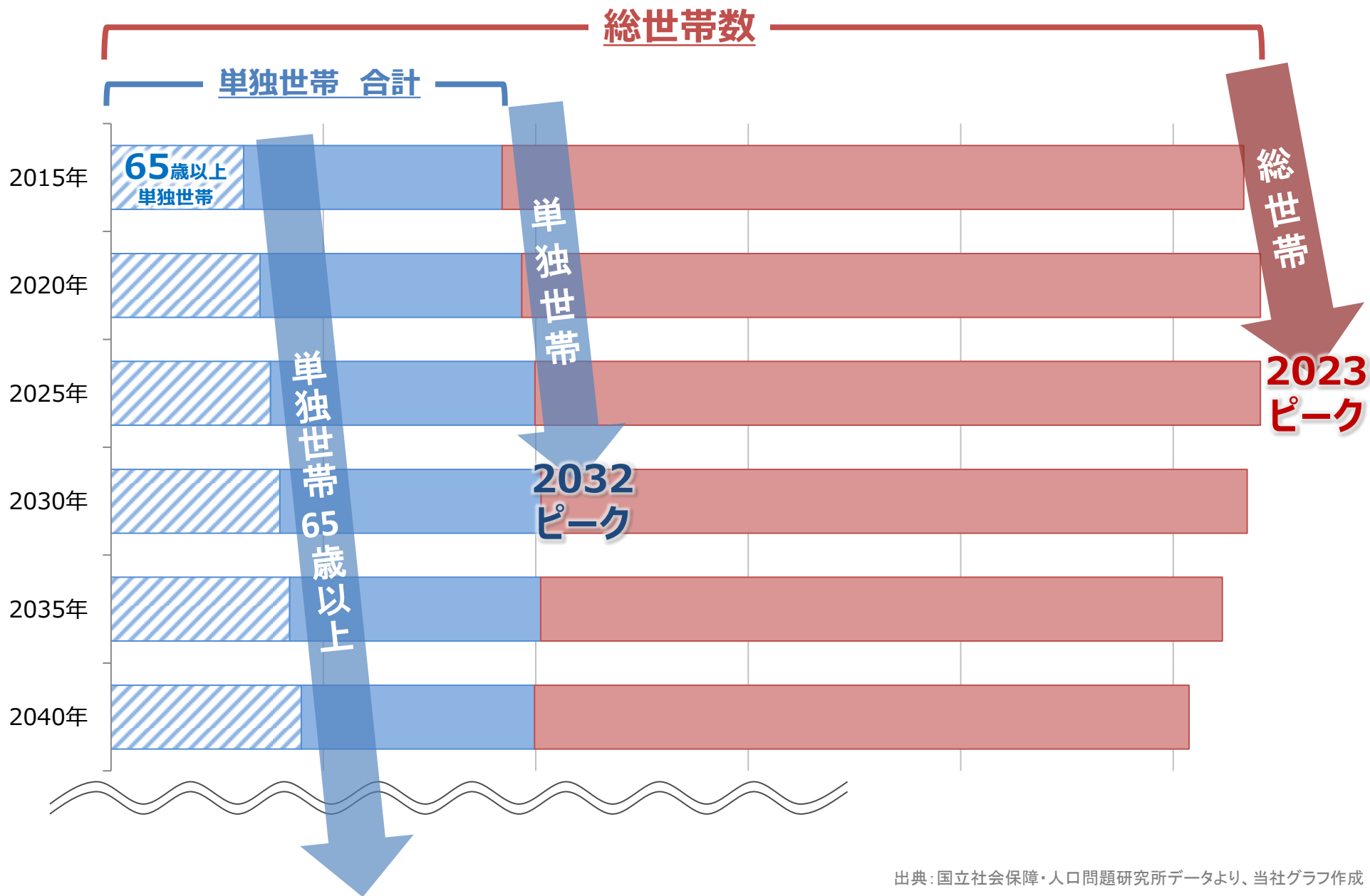
作業性改善

エコ化推進

トレーのリサイクル拡大

テイクアウト対応

# 世帯数の推移

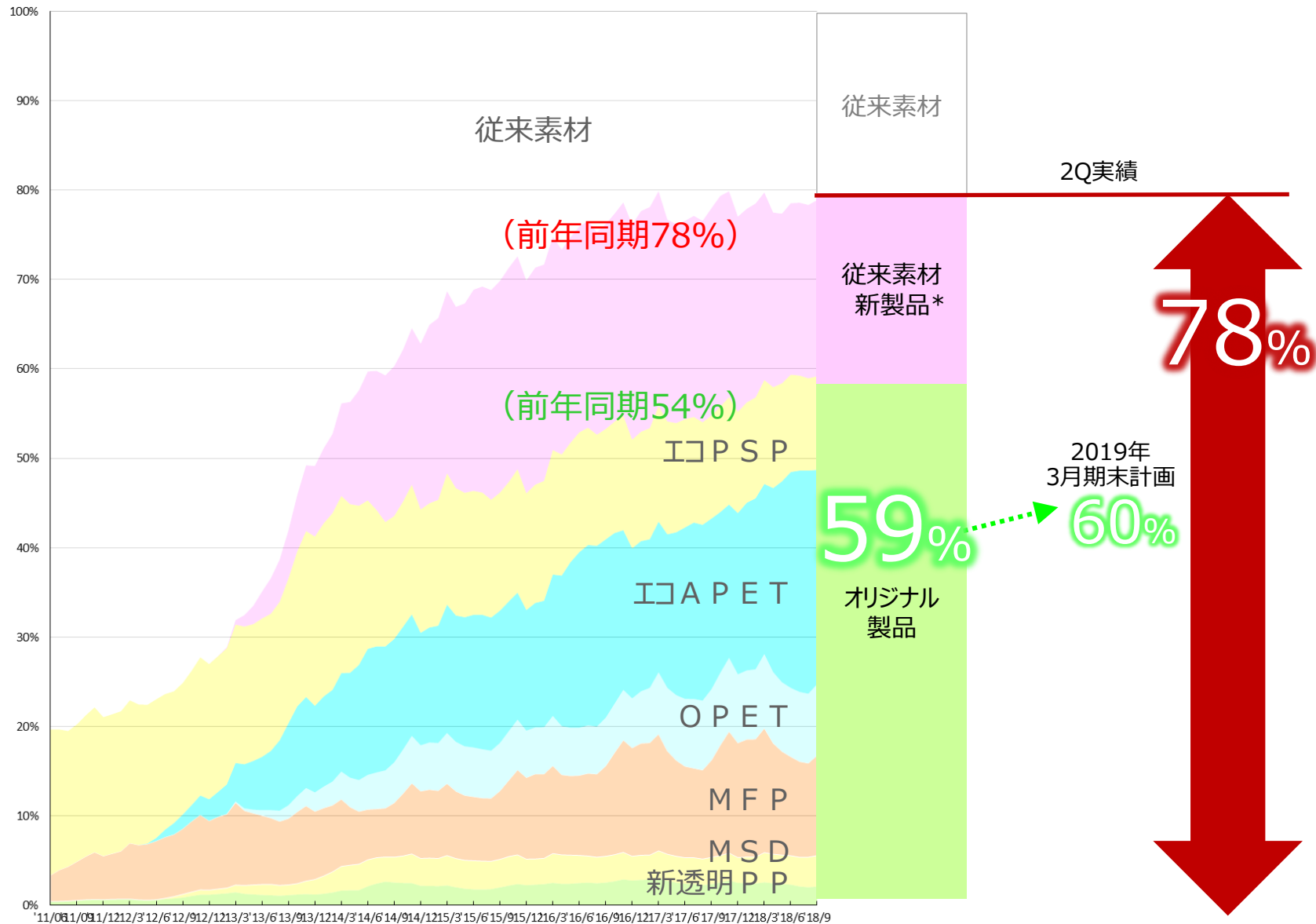


# 中食市場規模推移

単位：兆円



# 製品売上構成比 推移



\*2015年12月までは2013年1月以降上市した新製品  
2016年1月以降は過去3年の新製品

# マーケットを創出する新製品

MFPレント シリーズ



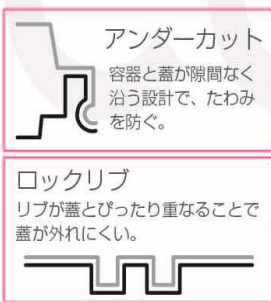
MFPリコット シリーズ



シャトープラッター シリーズ



竹皿膳シリーズ



エコPSP



エコAPET



エコOPET



# 生から惣菜 全国各地で拡大中

“生から惣菜” 実施企業数 **114**企業

春夏・秋冬に応じたメニュー開発が徐々に定着



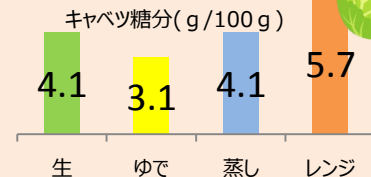
**Point 1**  
美味しい

生から加熱の方がシャキシャキして美味しい！



**Point 2**  
栄養

レンジだから素材がもつ栄養の残存率が高い



**Point 3**  
簡単

調理や洗い物の手間いらず



**Point 4**  
安全

火は使わない！レンジ仕上げ



# メニュー展開事例 (A社様)

## 精肉部

499円



銘柄豚のボン酢ジュレ温しゃぶ 499円



銘柄豚の胡麻ジュレ温しゃぶ 499円



銘柄豚バラ肉のチーズデジカルビ 590円



お肉屋さんを選んだベーコンと葱の辛味噌ジュレ温野菜 550円



銘柄鶏と葱の辛味噌ジュレ温野菜 599円



黒毛和牛のチャブチ 799円

799円

## 鮮魚部



海老と葱の辛味噌温野菜 499円



海鮮5種と葱の辛味噌温野菜 499円



かつおのつみれと餃子の辛味噌温野菜 499円



海鮮4種具材のボン酢ジュレ温野菜 599円



海鮮4種具材と葱の辛味噌温野菜 599円



海老子り 599円

## 惣菜部



おとめ豚の回鍋肉丼 599円



三元豚の回鍋肉 1日の1/2の野菜が摂れる 499円



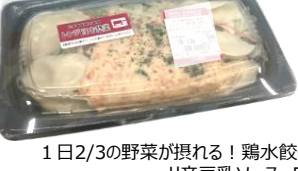
4種野菜の海老麻婆春雨 499円



5種野菜のピリ辛チーズダッカルビ 599円



7種具材のピリ辛シンガポールホッケンミー 599円



1日2/3の野菜が摂れる! 鶏水餃子のピリ辛豆乳ソース 599円

## 鍋



鶏もも肉と5種具材の鍋 599円



国産鶏水餃子の生姜香る濃厚白湯スープ 499円



自家製水餃子と5種具材の鍋 599円



1日の2/3の野菜が摂れる! 水餃子とそぼろ玉のチゲ鍋 699円



たらちり鍋セット 699円



1日の2/3の野菜が摂れる! モロッコスパイスとレモンチキンのタジン鍋風 699円



銘柄豚バラ肉のチゲ鍋セット 699円



牡蠣鍋セット 799円

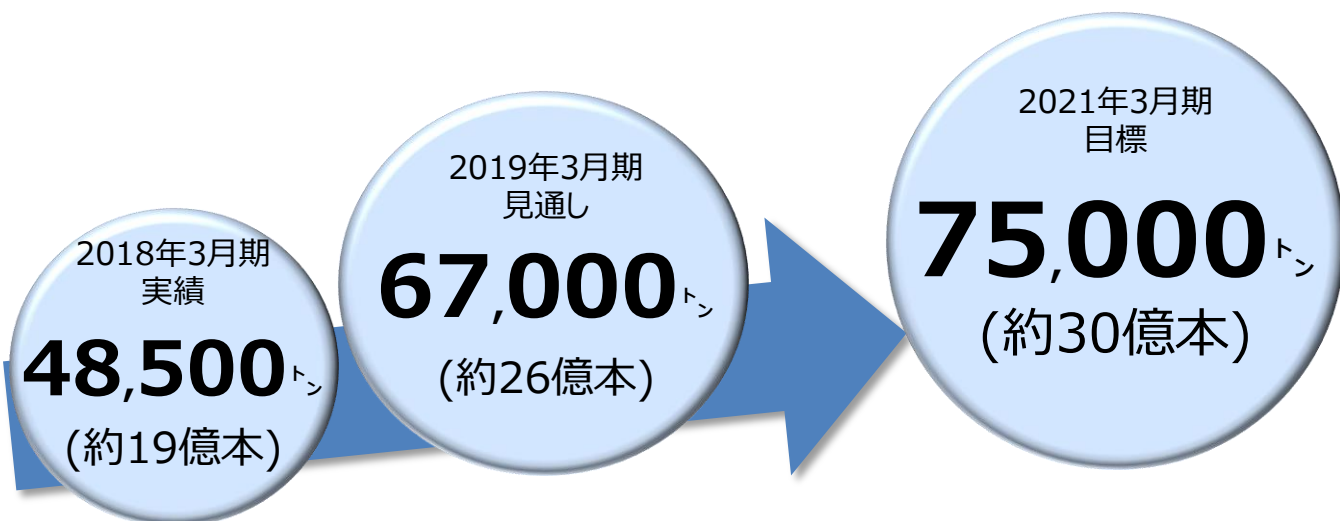


海鮮4種具材のチゲ鍋セット 799円

# プラスチック資源の回収

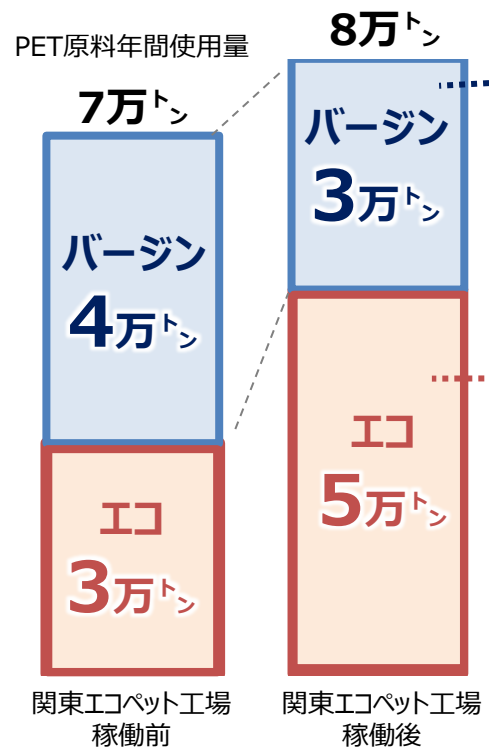
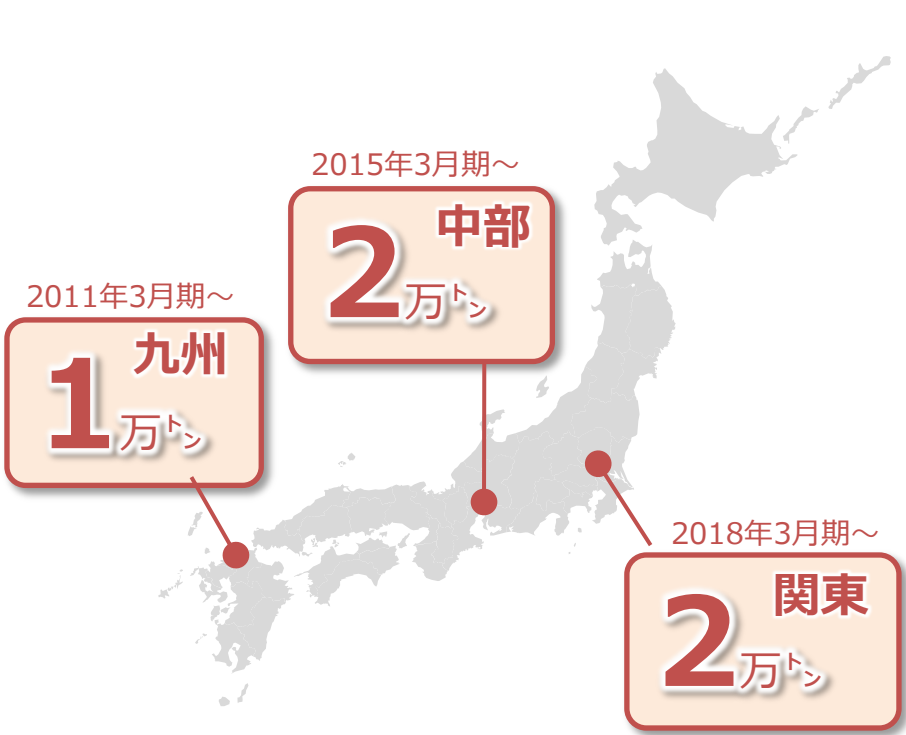
※枚数・本数換算は、標準的なグラム数にて算出  
発泡トレイ：約4g、透明容器：約10g、PETボトル：約25g

## リサイクル投入量（年間）





# 全国5万トンの再生PET原料供給能力



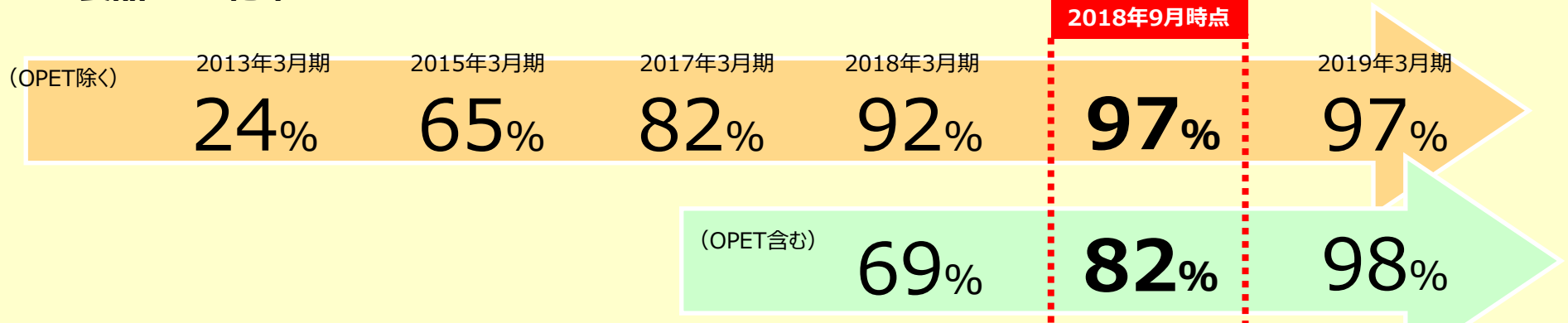
■ 2017年9月  
中国の不当販売による課税処置

■ 直近  
中国国内での内需拡大

■ 2017年7月  
中国の一部廃棄物の輸入停止

■ 直近  
リサイクル機運の急激な高まり

## APET製品 エコ化率 (第4四半期平均)



# エコトレ・エコAPET CO2削減

エコトレ



CO2削減効果

**-30%**

2018年3月期CO2排出量  
年間**11.3万t**削減  
(エコトレ 3.7万t / エコAPET 7.0万t / エコOPET 0.6万t)

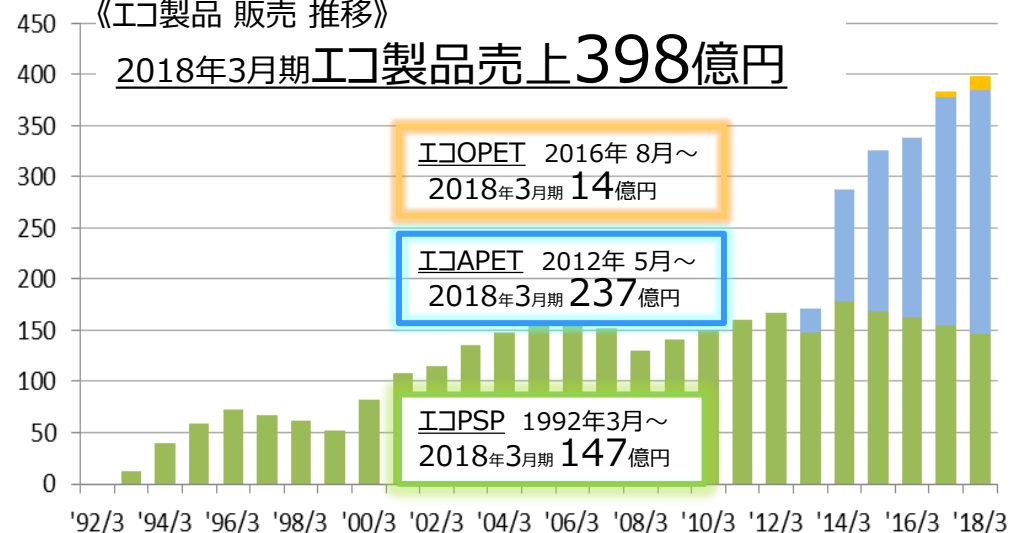
エコAPET



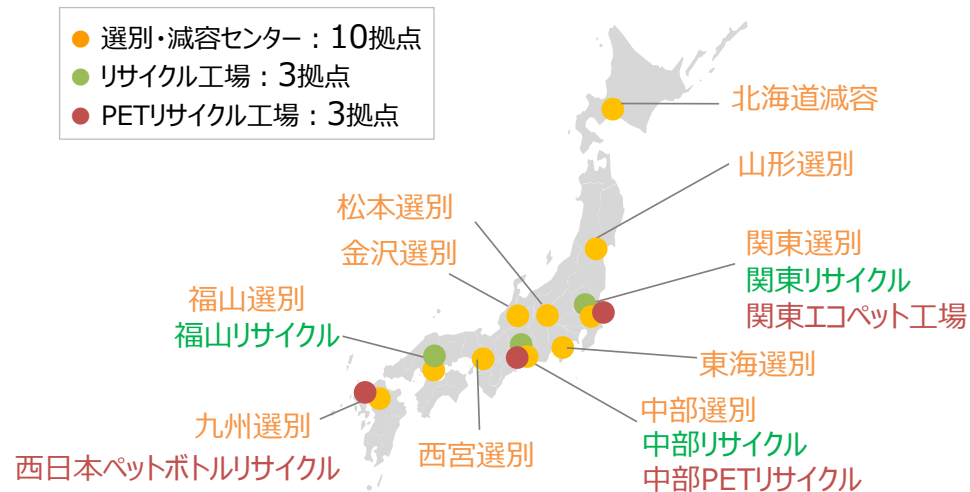
※当社バージン製品とエコ製品の比較 (1kgあたり)

《エコ製品 販売 推移》

2018年3月期エコ製品売上**398億円**



- 選別・減容センター：10拠点
- リサイクル工場：3拠点
- PETリサイクル工場：3拠点



# 能力を最大限に活かしたダイバーシティ経営



## 選別センター **10**事業所

自社 7事業所  
事業請負 1事業所  
事業提携 2事業所



## 折箱容器組立・二次加工

**8**事業所

自社 7事業所  
業務請負 1事業所



## 容器製造(発泡・透明)

**3**事業所

2018年3月末時点エフピコグループ

障がい者雇用人数 : 377名  
障がい者雇用率換算数 : 649名  
障がい者雇用率 : 13.78%

## ■ 2017年10月 (東洋経済新報社) 「障がい者雇用率ランキング」 4年連続1位

## ■ 2018年2月 (東京ボランティア・市民活動センター) 第3回「企業ボランティア・アワード」受賞

2010年より障がい者とともに行うスポーツであるフロアホッケーに取り組み、大会では選手として汗を流すだけでなく、運営スタッフとして100名を超える社員がボランティアで参加しています。

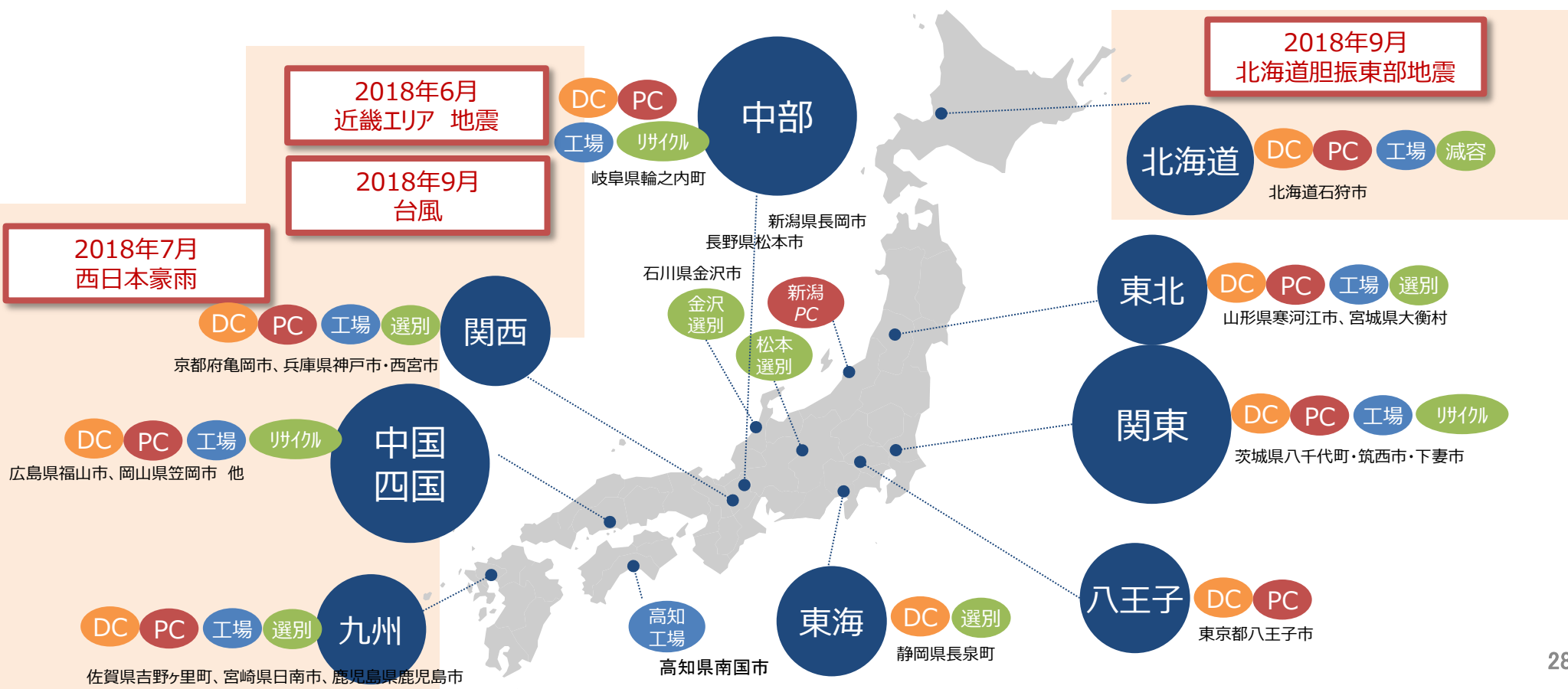
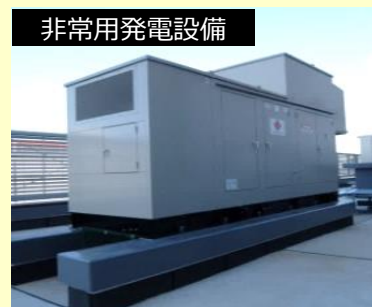


# 全国にある物流・生産拠点

## BCP(事業継続計画) “災害時の安定供給”

全国21物流拠点すべてに、非常用発電設備を設置

**72時間**の電力供給を確保、燃料備蓄



# IT活用で配送の効率・精度UP

ルート  
プランナー

積載効率UP

車両台数の抑制

出荷CS数 103.7%

販売車両数 100.4%

※エフピコタイヤフーズ分除く  
※2019年3月期上期実績

RDチェック  
システム

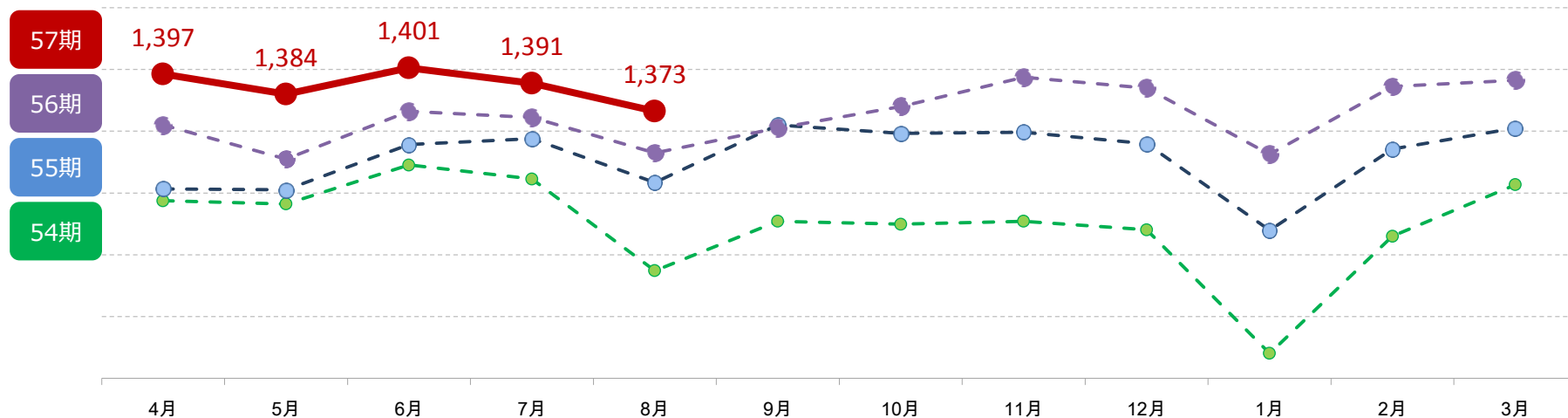
配送ルート  
の最適化

配送時間の短縮

以前 8:07

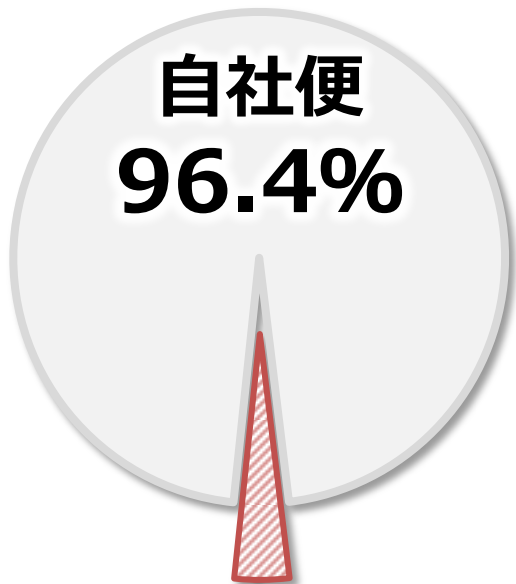
現在 7:31 (▲36分)

《販売配送・1台あたりの積載量(才数)の推移》

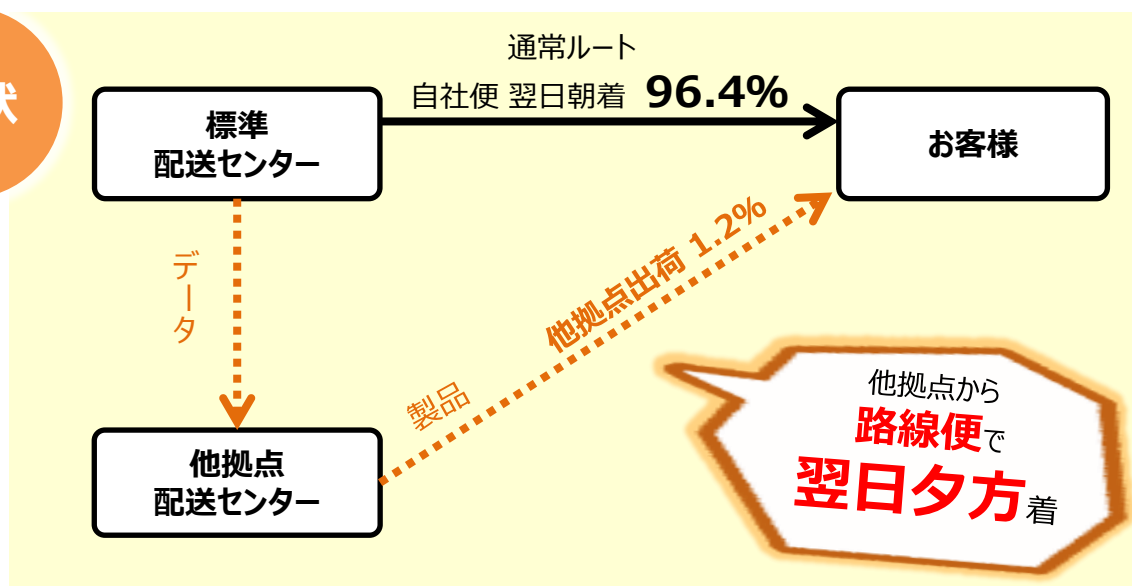


# 路線便出荷削減

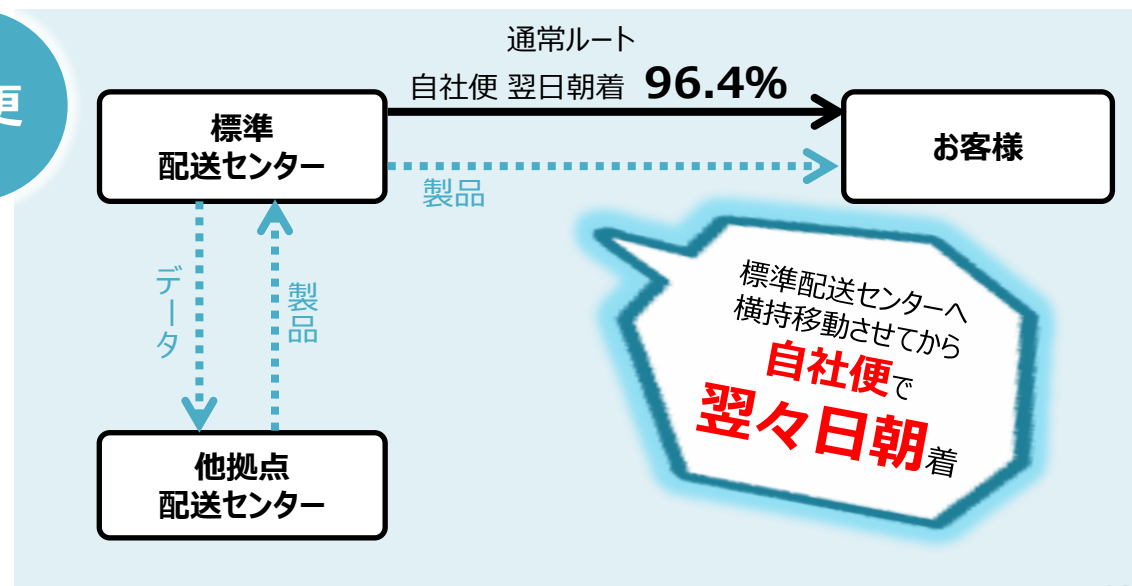
自社便・路線便構成比



現状



変更

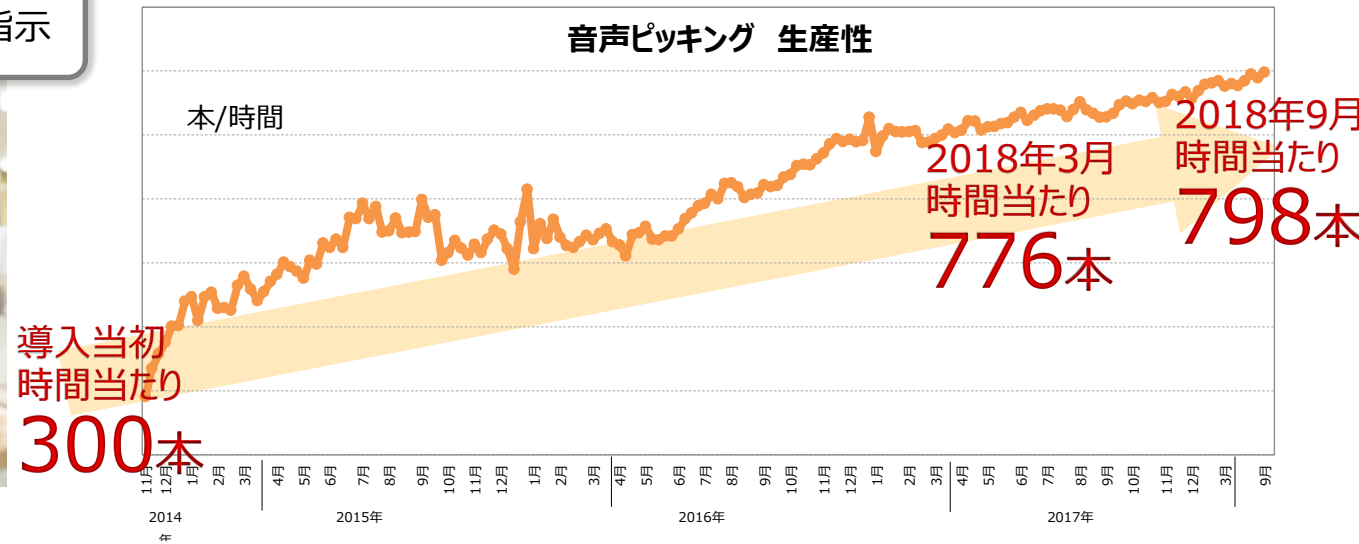


路線便 3.6% 内訳

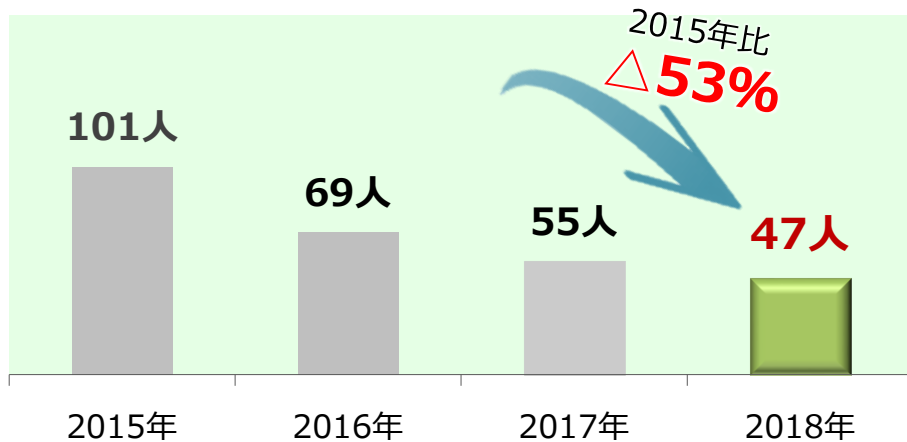
自社便へ切替え検討

自社便 配送 エリア外	自社便配送 エリア内 (自社便配送不可)	他拠点出荷
0.6%	1.8%	1.2% (21千ケース/月)

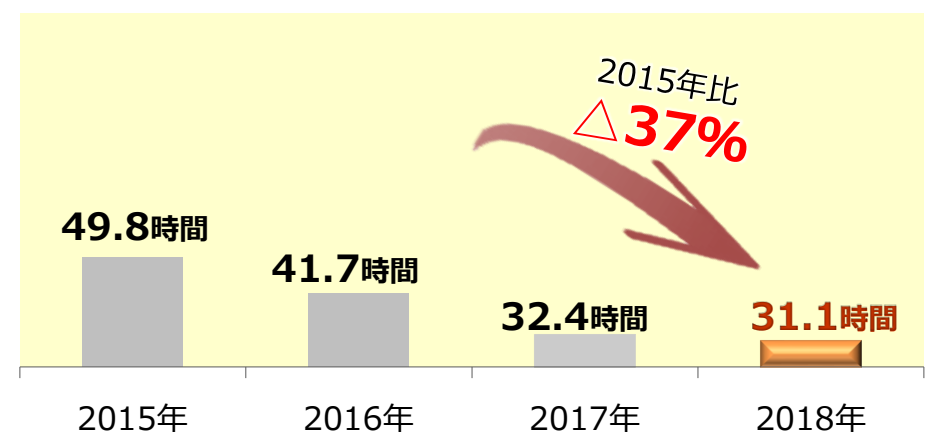
# 音声ピッキングシステムによる“作業効率”UP



## 繁忙期 臨時雇用スタッフ (夏期)



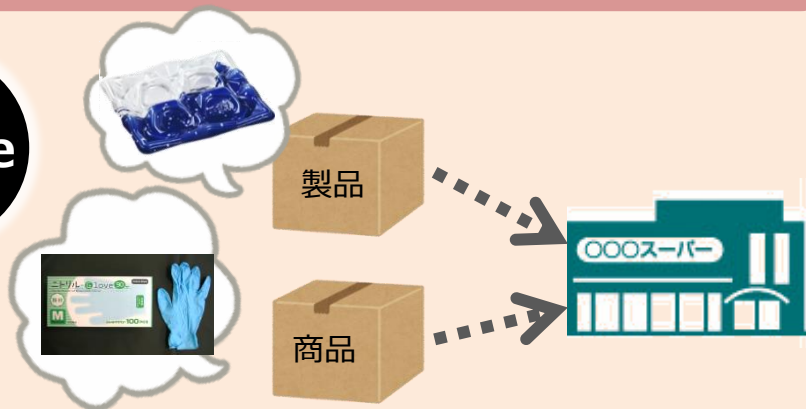
## 繁忙期 残業時間 (夏期)



# 物流部門の合理化

製商品を同梱包することにより  
段ボール原紙10%以上値上がりの中  
**段ボール資材費92%**

Before

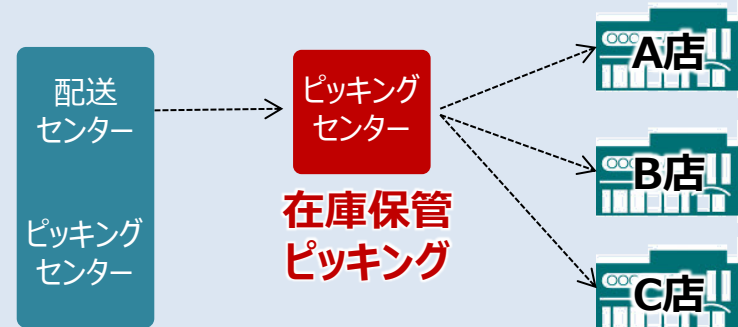


After

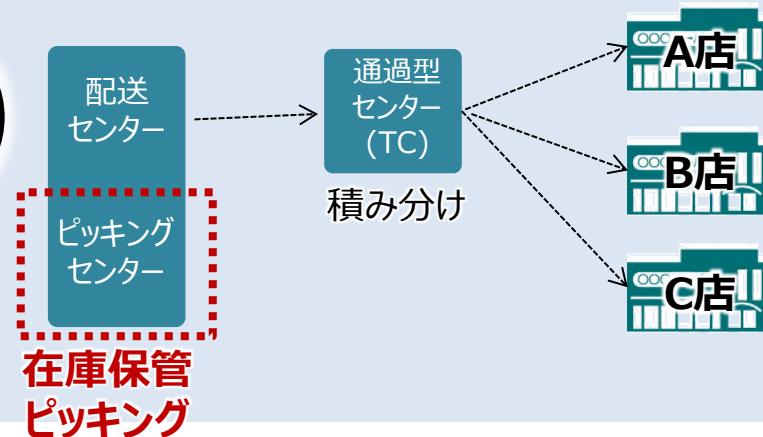


在庫・ピッキング機能を集約することにより  
**年間5,000万円の合理化見込**

Before



After





# 自動化による“作業効率”UP（物流部門）

NEW

## AGV

（自動搬送車）

### 倉庫内の移動を自動化

倉庫内(同じ階)の指定したルートを通り無人で横移動させます。  
2017年10月より導入スタート。順次拡大中

導入前

89.3

ケース/MH

現在

95.4

ケース/MH

改善率

106.7%

### 作業時間

その他  
25%

格納  
35%

移動  
40%

20%へ改善



### クロスドック センター

### 倉庫から倉庫への移動

倉庫と倉庫をつなぐことで、トラックが各倉庫を回らなくても  
一か所で受け取れるようケースを移動させます。



### ソーター システム

### 倉庫からトラックバースへの移動

倉庫の2階や3階から指定したトラックバース  
(荷物を積む場所)まで自動仕分けしながら移動させます。



# 自動化による“作業効率”UP（生産部門）

2018年3月期

約▲**94**名相当の合理化

効果 3億円/年

2019年3月期 計画

約▲**118**名相当の合理化

効果 4億円/年

自動除塵包装機



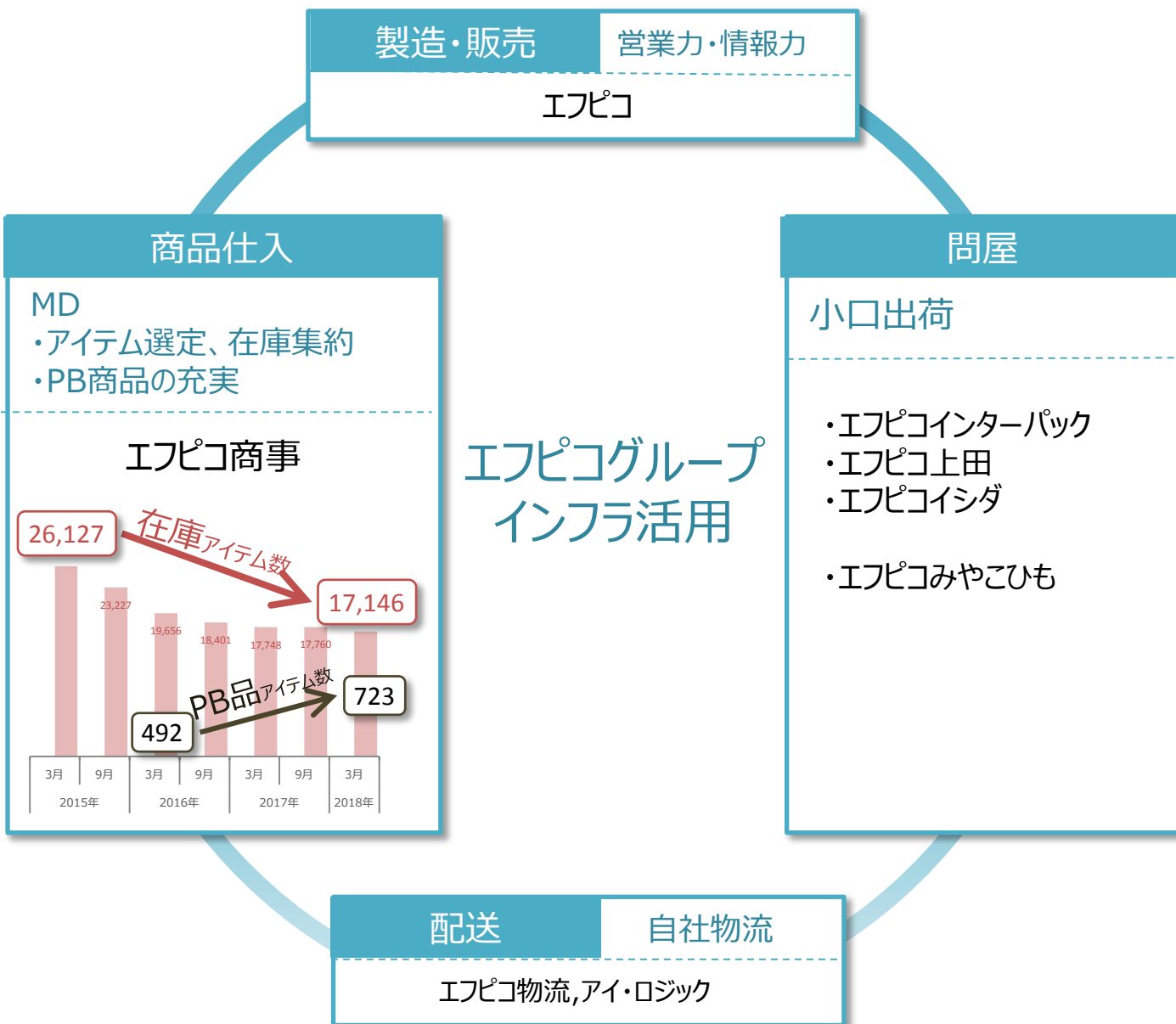
自動包装機



ケース梱包ロボット



# 商品売上拡大に向けて



## WEB受注拡大

電話・FAX受注先

スマホ

タブレット

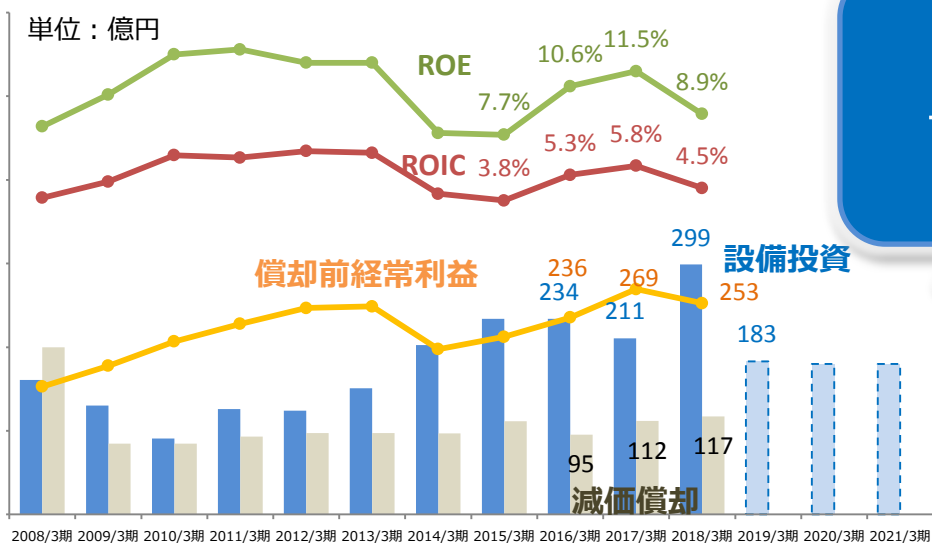
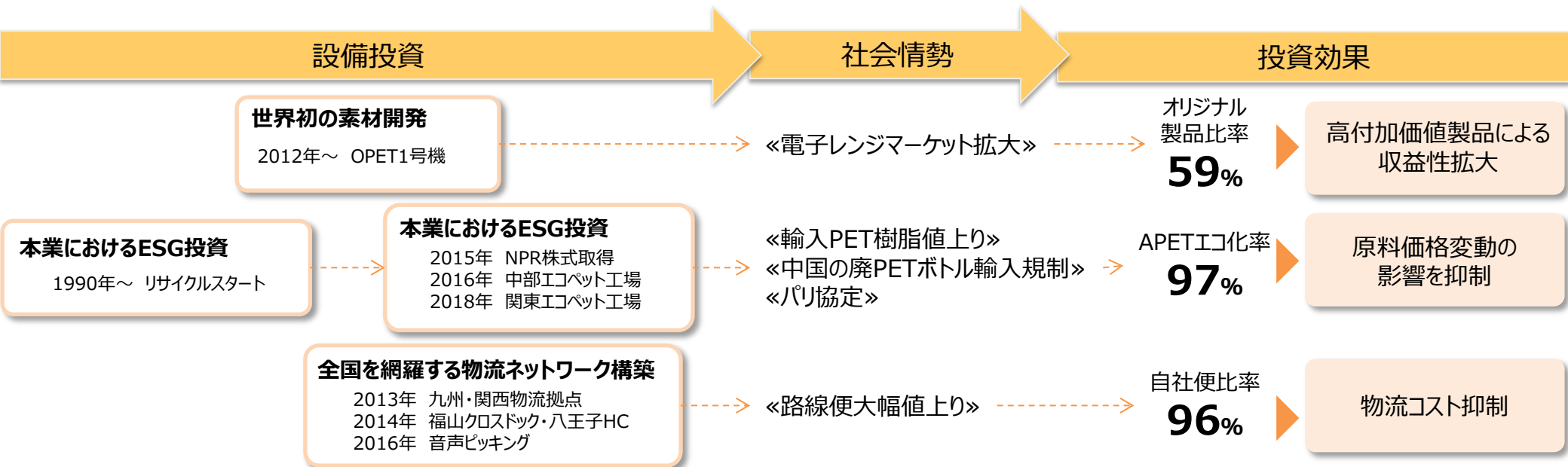
パソコン

## ECサイト活用

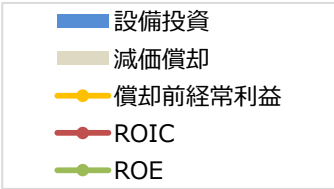
2019年春オープン予定

**パワーマーケット**

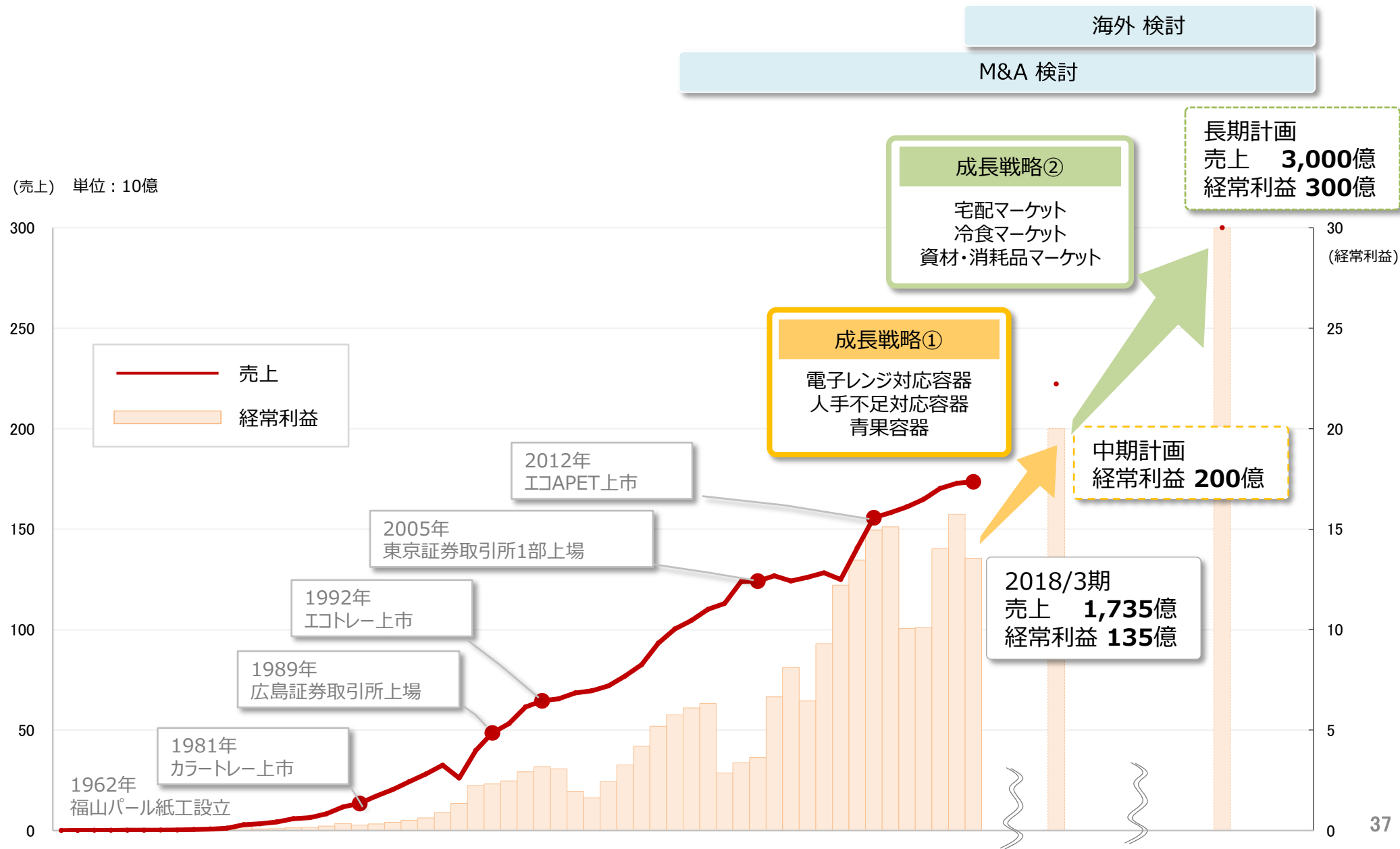
# 戦略投資



今後の設備投資  
マーケットを創出する新素材開発

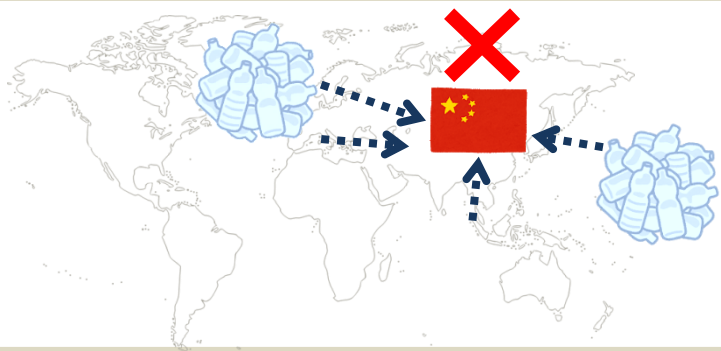


# エピコの成長戦略



# 海洋プラスチック問題の背景および現状

中国の廃棄物輸入規制により  
欧州などで廃棄物の処理問題が深刻化



海洋マイクロプラスチック問題



2つの問題が結合し  
世界的に **大きな問題へ発展**

**G7**

**海洋プラスチック憲章(抜粋)**

- ・2030年までにプラスチック容器の最低55%をリサイクルまたは再使用
- ・2040年までに全てのプラスチック容器を100%回収する

**環境省**

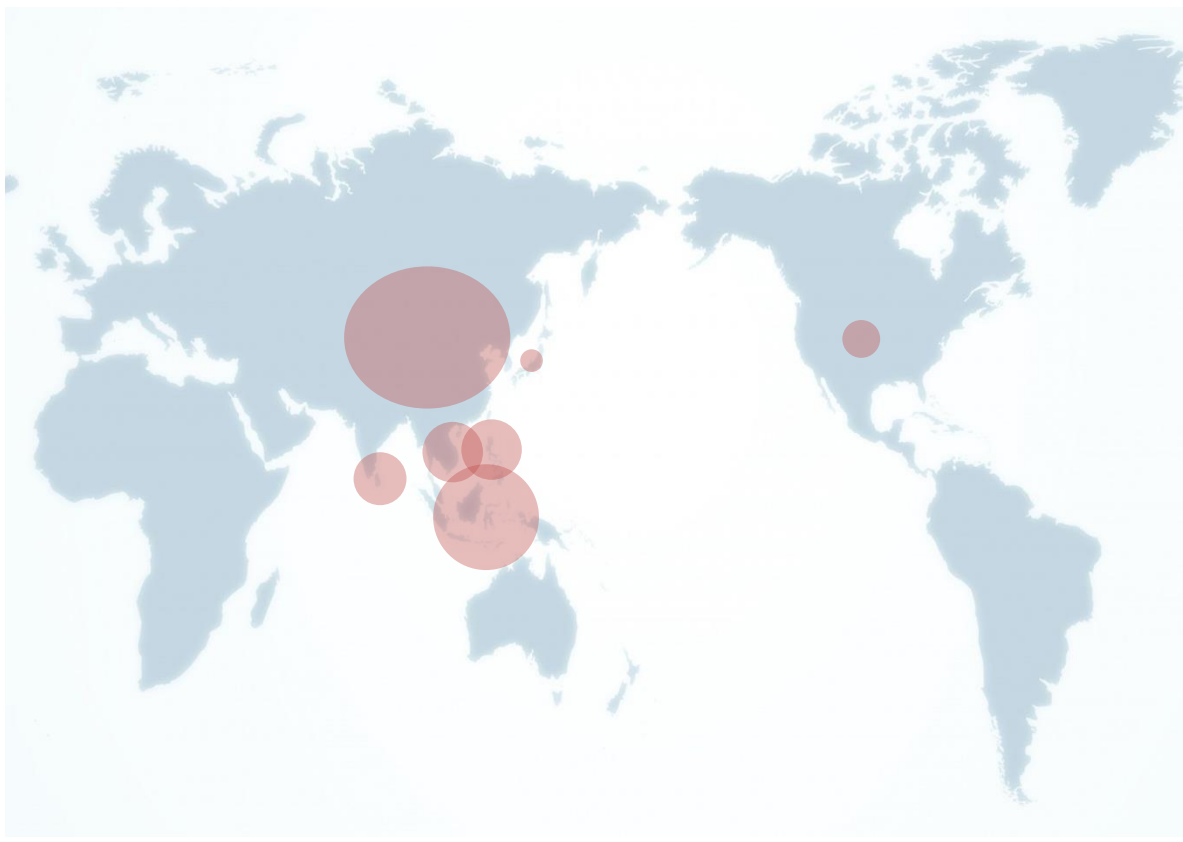
**プラスチック資源循環戦略**








- ・2019年G20サミットまでに策定
- エフピコは日本プラスチック工業連盟理事として小委員会に参加、産業界として意見を陳述

世界的流れのキーワードは、「3R」と「拡大生産者責任」

# 必要な対策 陸上から海洋への流出防止

## 陸上から海洋に流出したプラスチックごみ発生量ランキング (2010年推計)



1位 中国	353万トン/年	
2位 インドネシア	129万トン/年	
3位 フィリピン	75万トン/年	
4位 ベトナム	73万トン/年	
5位 スリランカ	64万トン/年	
⋮		
20位 アメリカ	11万トン/年	
⋮		
30位 日本	6万トン/年	

統計データはないが インドは 推定500万t/年以上

※環境省資料を参考に当社にて作成

※推計量の最大値を記載

# プラスチックのリサイクル

ペットボトル



約**75**万トン

単一素材

食品容器



約**80**万トン

軟包装



約**300**万トン

複合素材

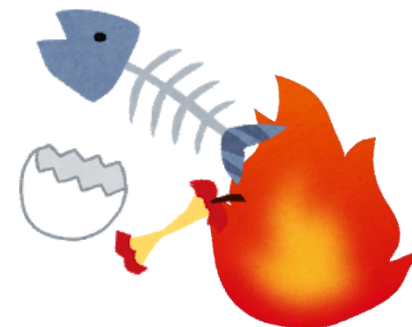
## マテリアルリサイクル

[ 材料リサイクル ]



## サーマルリサイクル

[ 熱回収(Recovery) ]





# 必要な対策 3 R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進

**R**ecycle (リサイクル)  
リサイクルすれば再び原料にもどります  
材料リサイクルに適した単一素材を回収・リサイクルします

**R**educe(減らす)  
薄肉化・軽量化  
軽量かつ省資源な製品を提供します

重要なのは「適正にリサイクルすること」  
リサイクルの啓発活動をおこなってまいります



ポスター  
新規作成中

使い捨て、なんて  
言わないわ!!

使い終わったらそれは資源。食品トレーは“使い捨て”ではないのです。  
海洋生物も、未来の子供たちの暮らしも守るアイデア。  
そう、私たちにやれることがあります。

使用済食品トレーは洗ってリサイクルボックスへ

スーパーABC | トレーからトレーにリサイクルする会社 | エフピコ

# 環境省 プラスチック資源循環戦略（素案）

## カナダ・シャルルボアG7サミット 「海洋プラスチック憲章」

代替品が環境に与える影響の全体像を考慮し、使い捨てプラの不必要な使用を最大限に削除する。

2030年までに100%のプラスチックが、再使用可能、リサイクル可能又は、実行可能な代替品が存在しない場合には、熱回収可能となるよう産業界と協力する。

2030年までにプラスチック包装の最低55%をリサイクル又は再使用し、2040年までには全てのプラスチックを熱回収含め100%有効利用するよう産業界及び政府の他のレベルと協力する。

適用可能な場合には、2030年までにプラスチック製品においてリサイクル素材の使用を少なくとも50%増加させるべく産業界と協力する。

## 環境省 プラスチック資源循環戦略(素案) 「マイルストーン」

### リデュース

消費者はじめ国民各界各層の理解と連携協働により、代替品が環境に与える影響を考慮しつつ、2030年までに、ワンウェイのプラスチック（容器包装等）を累積で25%排出抑制するよう目指します。

### リユース・ リサイクル

2025年までにプラスチック製容器包装・製品のデザインを、容器包装・製品の機能を確保することとの両立を図りつつ、技術的に分別容易かつリユース可能又はリサイクル可能なものとするを旨します。（それが難しい場合にも、熱回収可能性を確実に担保するを旨します。）

2030年までにプラスチック製容器包装の6割をリサイクル又はリユースし、かつ、2035年までにすべての使用済みプラスチックを熱回収も含め100%有効利用するよう国民各界各層との連携協働により実現を旨します。

### 再生利用・ バイオマス プラスチック

適用可能性を勘案した上で、政府、地方自治体はじめ国民各界各層の理解と連携協働の促進により、2030年までに、プラスチックの再生利用を倍増するよう目指します。

導入可能性を高めつつ、国民各界各層の理解と連携協働の促進により、2030年までに、バイオマスプラスチックを最大限（約200万ト）導入するよう目指します。

# 3R推進の具体的取り組み

## リサイクル

「トレーtoトレー」のリサイクルによる廃プラスチックの削減

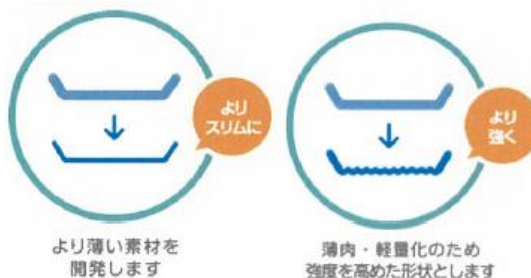
2020年度目標 リサイクル投入量  
年間1万ト



## リデュース

食品容器の薄肉化による廃プラスチックの削減

2020年までに2013年度に対して  
5%の軽量化・薄肉化



## 啓発活動

トレーリサイクルの消費者普及啓発活動

見学者・講演者数  
2020年度までに23,000人/年達成



## リサイクル

「ボトルtoトレー」のリサイクルによる廃プラスチックの削減

2020年度目標 リサイクル投入量  
年間7.5万ト



## リデュース

「二軸延伸PET」技術によるPET樹脂の省資源化

2019年度目標 PET原料 ▲7,100ト



## 啓発活動

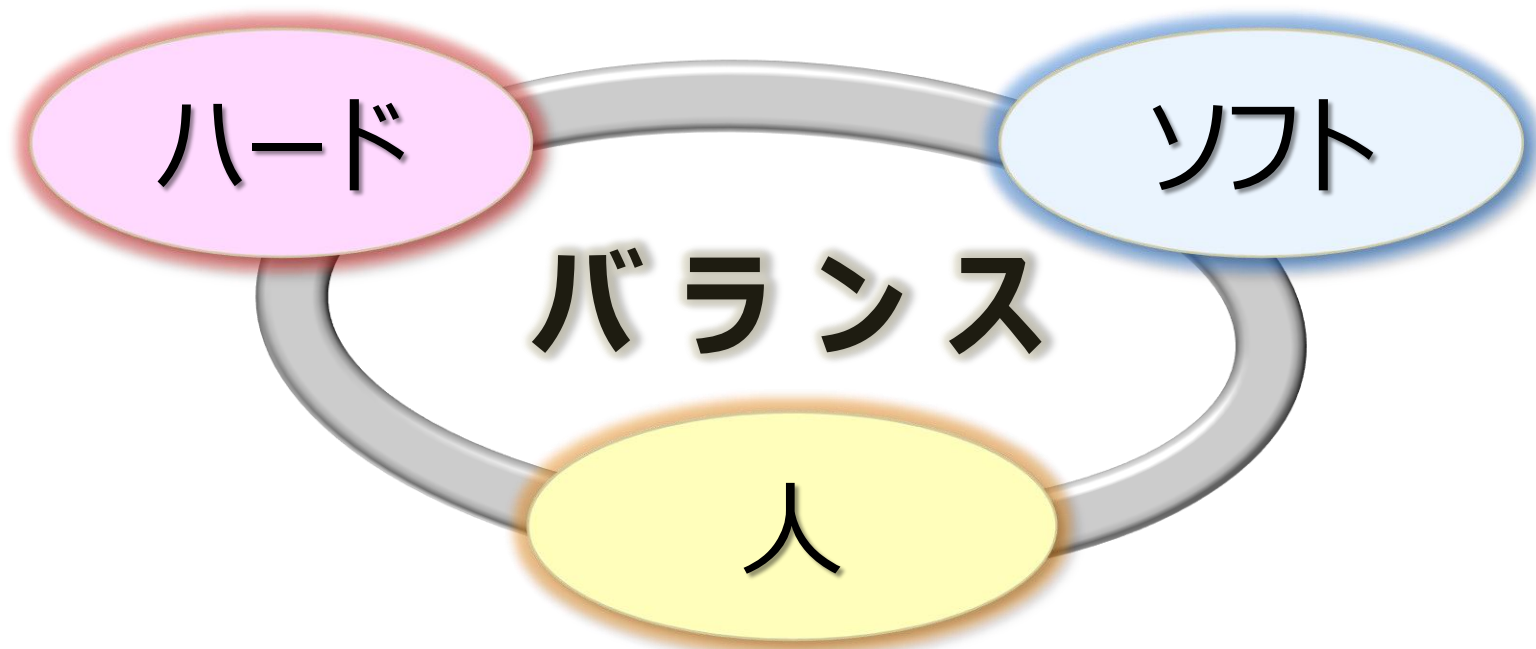
トレーリサイクルの消費者普及啓発活動

2018年度目標 100社掲示



# 企業価値拡大に向けて

「最も高品質な製品を  
競争力のある価格で  
必要な時に確実にお届けする」



FPCO-DNAを継承し、「現場主義」・「顧客第一主義」のもと  
一歩先を見通した提案をし続けます

# 添付資料

---

# 用語解説

PS : ポリスチレン

PET : ポリエチレンテレフタレート

PP : ポリプロピレン

マルチFP(MFP)容器 : -40℃~+110℃の耐寒・耐熱性をそなえ、耐油・耐酸性及び断熱性に優れた発泡PS容器

マルチソリッド(MSD)容器 : マルチFPの端材を活用し、その特性を維持しつつシャープな形状を実現した非発泡PS容器  
耐熱温度+110℃

OPET透明容器 : 二軸延伸PETシートから成形した、耐油・耐酸性に優れ、透明度も高く、OPSと同等の耐熱性を実現したPET透明容器 耐熱温度+80℃

新透明PP容器 : 標準グレードのPP原料から、OPSと同程度の透明度を実現した透明PP容器 耐熱温度+110℃

PPSAシリーズ : 嵌合フードパックタイプの新透明PP容器 耐熱温度+110℃

OPS透明容器 : 従来からの二軸延伸PSシートから成形した透明容器 耐熱温度+80℃

エコトレー : スーパーで店頭回収されたPS容器と工場内端材を原料とするリサイクル発泡PS容器 (1992年販売開始)

エコAPET : スーパーで店頭回収されたPET透明容器・PETボトル及び工場内端材を原料とするリサイクルPET透明容器  
(2012年販売開始)

フードパック : スーパーの揚げ物バイキングコーナーなどで使用される、蓋(フード)と本体が一体となった汎用透明容器

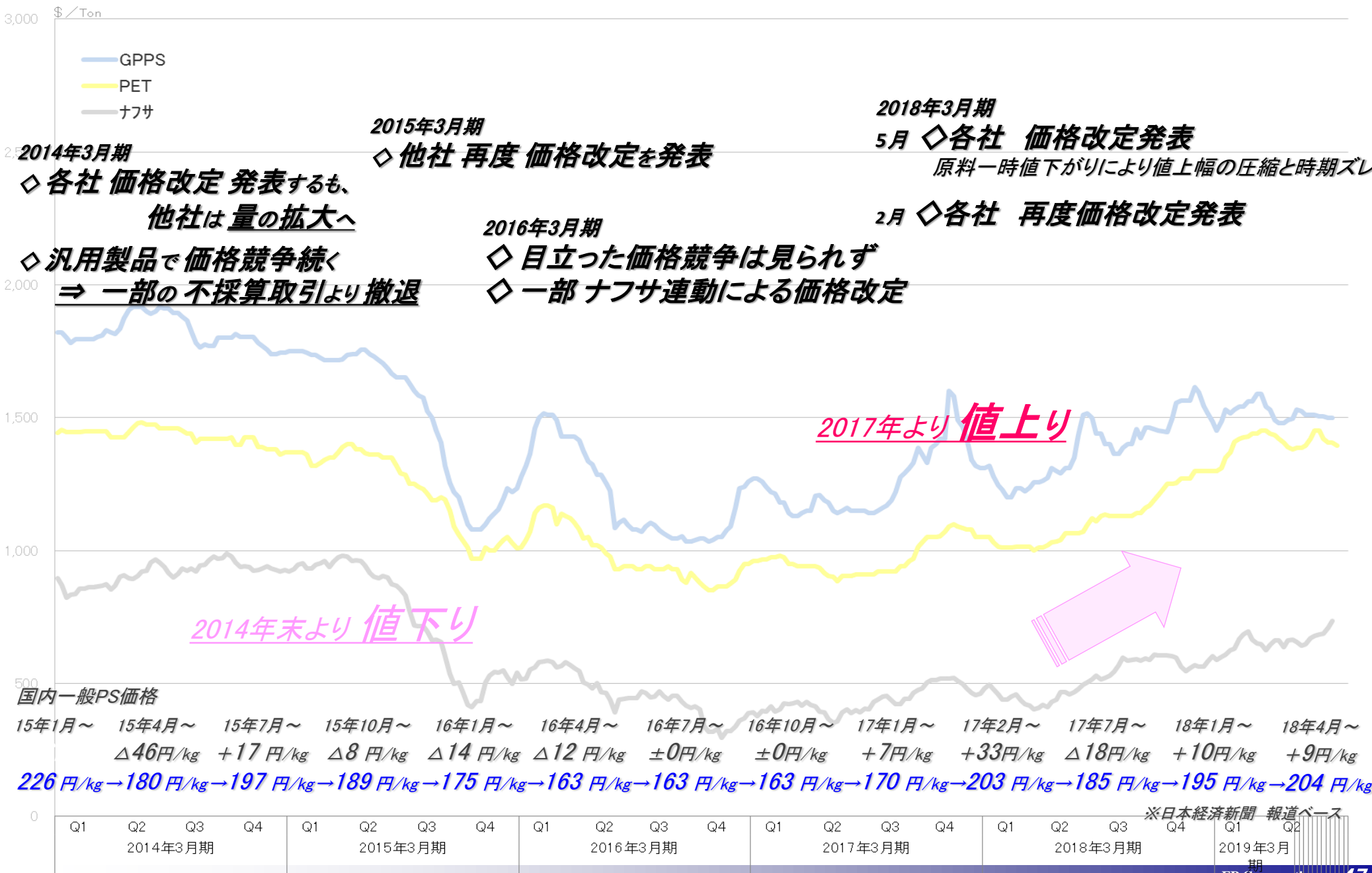
クロスドックセンター : お客様にお届けする製品を、個別の配送トラックが在庫倉庫を廻って積込むミルクラン方式にかわり、全ての出荷製品を一カ所に集め、配送ルート毎に自動ソーターで仕分けの後、配達順に積込むクロスドック方式を実現する配送センター

配送センター : 製品をケース単位で出荷

ピッキングセンター : 製品及び商品を小分けピッキングし出荷

選別センター : 店頭回収したPS容器を白と色に、店頭回収した透明容器をPS・PET・PP等の素材に、それぞれ選別

# 原材料動向



2014年3月期  
◇各社 価格改定 発表するも、  
他社は量の拡大へ

◇汎用製品で価格競争続く  
⇒ 一部の不採算取引より撤退

2015年3月期  
◇他社 再度 価格改定を公表

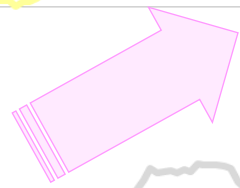
2016年3月期  
◇目立った価格競争は見られず  
◇一部 ナフサ連動による価格改定

2018年3月期  
5月 ◇各社 価格改定発表  
原料一時値下がりにより値上幅の圧縮と時期ズレ

2月 ◇各社 再度価格改定発表

2017年より 値上り

2014年末より 値下り



# 世界初の素材・シート シート加工メーカーからの脱却

PP:ポリプロピレン

- ★ 耐熱性がある: +110°C
- ★ 耐油性に優れる
- ★ 発泡が難しく、軽量化しにくい
- ★ コシ強度が低い
- ★ 耐寒性に劣る
- ★ 透明性が出難い



## 新透明PP

- ★ 耐熱性がある: +110°C
- ★ 耐油性に優れる
- ★ 透明性がOPSと同等

PS:ポリスチレン



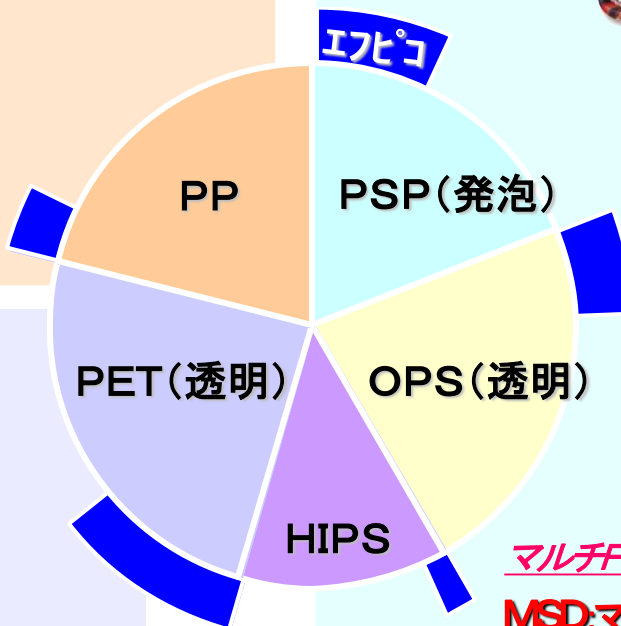
PSP:発泡PS

- ★ 成形性が良い
- ★ 原材料比率が低い
- ★ 軽量化が可能
- ★ 断熱性が高い
- ★ 耐熱性が低い: +70°C
- ★ 耐油性に劣る



## MFP:マルチFP :発泡PS

- ★ 成形性が良い
- ★ 原材料比率が低い
- ★ 断熱性が高い
- ★ 耐油性に優れる
- ★ 幅広い温度帯をカバー  
-40°C ~ +110°C
- ★ コシ強度がある
- ★ 軽量化が可能



PET:ポリエチレンテレフタレート

- ★ 最後発 樹脂
- ★ 透明性が高い
- ★ 耐油性に優れる
- ★ 耐熱性が低い: +60°C
- ★ 比重が大きい

## OPET:二軸延伸PET

- ★ 透明性が高い
- ★ 耐油性に優れる
- ★ 耐熱性がOPSと同等: +80°C
- ★ 延伸により軽量化が可能
- ★ 成形が難しい



マルチFP端材の循環

MSD:マルチリド

:非発泡PS

OPS:二軸延伸PS

- ★ 透明性がある
- ★ 耐熱性: +80°C
- ★ 耐油性に劣る
- ★ 軽量化に限界



# オリジナル製品の生産能力増強

2010年 2011年 2012年 2013年 2014年 2015年 2016年 2017年 2018年

2010年2月 マルチFP (MFP) 製品 上市



2012年2月 マルチソリッド (MSD) 製品 上市



2012年5月 エコAPET 製品 上市



2010年11月

中部PETリサイクル工場

2014年6月

西日本ペットボトルリサイクル

2016年3月

中部エコペット工場

2017年8月

関東エコペット工場

2012年11月 OPET 製品 上市



2012年7月

関東八千代工場

2012年6月 新透明PP製品 上市



# 經常利益 増減要因 推移

単位:億円

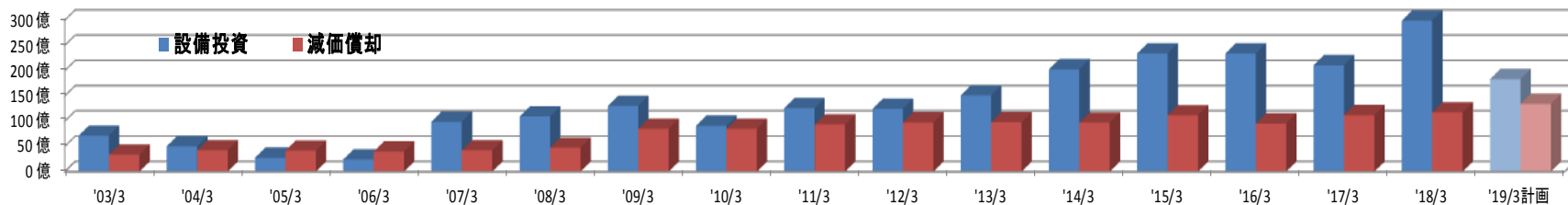
	'03/3	'04/3	'05/3	'06/3	'07/3	'08/3	'09/3	'10/3	'11/3	'12/3			'13/3			'14/3			'15/3			'16/3			'17/3			'18/3			'19/3 計画							
											上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期				
前期 經常利益	63.1	28.6	33.6	36.3	66.5	81.2	64.5	92.9	122.2	68.3	66.4	134.7	69.2	80.3	149.5	75.3	75.9	151.2	51.1	49.4	100.5	47.4	53.6	101.1	66.3	74.0	140.3	79.1	78.3	157.4	66.3	69.2	135.5					
原料値上り影響	-6.0	-13.8	-36.5	-10.0	-13.0	-39.5	-37.0	-25.0																														
						原料値下り		+78.0																														
						原料再値上り		-19.0	-23.0	-19.0	-18.0	-37.0	-3.0	-12.5	-15.5	-18.0	-28.0	-46.0	-7.0	-	-7.0																	
製品値上げ	-25.0	+7.7	+29.2		+4.0	+9.0	+38.0	+25.0		+10.0	+22.0	+32.0	+6.5	-	+6.5																							
						第1次 製品値下げ		-44.0																														
						第2次 製品値下げ		-19.0																														
素材切替・軽量化			+2.0	+8.0	+8.6	+11.8	+24.5	+20.0																														
						新素材効果																																
販売増・Mix改善	+45.0			+17.5	+5.8	+3.0	+7.0	+6.0	+21.5	+7.0	+8.0	+15.0	+9.0	+12.0	+21.0	+1.0	-	+1.0	-	+4.0	+4.0																	
生産改善	+2.4	-0.6	-2.0	+6.0	+8.7	+3.0	+2.5	+9.5	+12.0	+5.5	+3.5	+9.0	+1.0	+1.5	+2.5	+1.0	-	+1.0	+0.5	+3.5	+4.0	+5.0	+7.0	+12.0	+3.2	+1.1	+4.3	-3.2	-4.0	-7.2	-0.5	-1.5	-2.0					
物流改善	+0.3	-14.0	+12.2	+5.5	+8.0	+5.7	+5.0	+9.5	+8.0	+2.0	+2.0	+4.0	+1.0	+0.5	+1.5	+1.0	-	+1.0	-	-1.0	-1.0	-	+1.5	+1.5	-3.0	-2.7	-5.7	+0.5	+1.0	+1.5	-1.5	-	-1.5					
グループ会社利益改善								+5.0	+5.5	+3.0	+2.0	+5.0	+0.5	+0.5	+1.0	-	-1.0	-1.0	-	-1.5	-1.5	+3.0	+2.5	+5.5	+2.0	+3.0	+5.0	-	+1.5	+1.5	+0.5	+0.5	+1.0					
美術品売却益			+1.0	-1.0			+4.0	-4.0																														
補助金																																						
経費増加	-6.2	-19.3	-3.2	+4.2	-7.4	-9.7	-15.6	-12.7	-11.5	-7.6	-5.6	-13.2	-8.9	-6.4	-15.3	-10.0	-7.0	-17.0	-11.6	-10.4	-22.0	-9.2	-8.4	-17.6	-3.7	-2.4	-6.1	-3.1	-2.3	-5.4	-3.3	-4.2	-7.5					
増減計	-34.5	+5.0	+2.7	+30.2	+14.7	-16.7	+28.4	+29.3	+12.5	+0.9	+13.9	+14.8	+6.1	-4.4	+1.7	-24.0	-27.0	-51.0	-3.7	+4.2	+0.5	+18.9	+20.3	+39.2	+12.8	+4.3	+17.1	-12.8	-9.1	-21.9	-1.5	+14.0	+12.5					
当期 經常利益	28.6	33.6	36.3	66.5	81.2	64.5	92.9	122.3	134.7	69.2	80.3	149.5	75.3	75.9	151.2	51.1	49.4	100.5	47.4	53.6	101.1	66.3	74.0	140.3	79.1	78.3	157.4	66.3	69.2	135.5	64.8	83.2	148.0					

# 設備投資 推移

	'03年3月期	'04年3月期	'05年3月期	'06年3月期	'07年3月期	'08年3月期	'09年3月期	'10年3月期	'11年3月期	'12年3月期	'13年3月期	'14年3月期	'15年3月期	'16年3月期	'17年3月期	'18年3月期	'19年3月期 計画	
生産		山形工場			下館第二工場			大洋興業 日本ハール容器 ウツド工場	ダイヤフーズ フードパック設備 アルライト				「エフピコ総合研究所」 開発・研修棟					
					中部第二工場					九州第二工場	北海道工場増設	関東八千代工場			中部エコペット工場	関東エコペット工場		
																	自動化	
																		透明容器の強化 >
物流		東日本ハブC				関東八千代C						九州物流拠点						
		九州HC							新福山PC				関西物流拠点			音声ピッキング		
		関西HC								新中部PC				福山クロストック				
			北海道HC					新北海道HC										
											関東PC拡充							物流ネットワーク整備 >
リサイクル						中部・東北・九州リサイクル工場												
										容器選別センター全国展開								
										洗浄ライン 設備刷新								
										中部リサイクル工場								
										新リサイクルネットワーク構築 >								
																		NPR
																		PETリサイクル事業強化 >
その他						東海HC建物	本社事務所	福山地区土地・建物	ユカ商事			九州物流拠点土地						
							関東新工場土地	中部地区土地・建物	インターパック			関西物流拠点土地	八王子拠点土地	みやこひも				
																		フィルム工場
																		フィルム印刷工場

単位:百万円

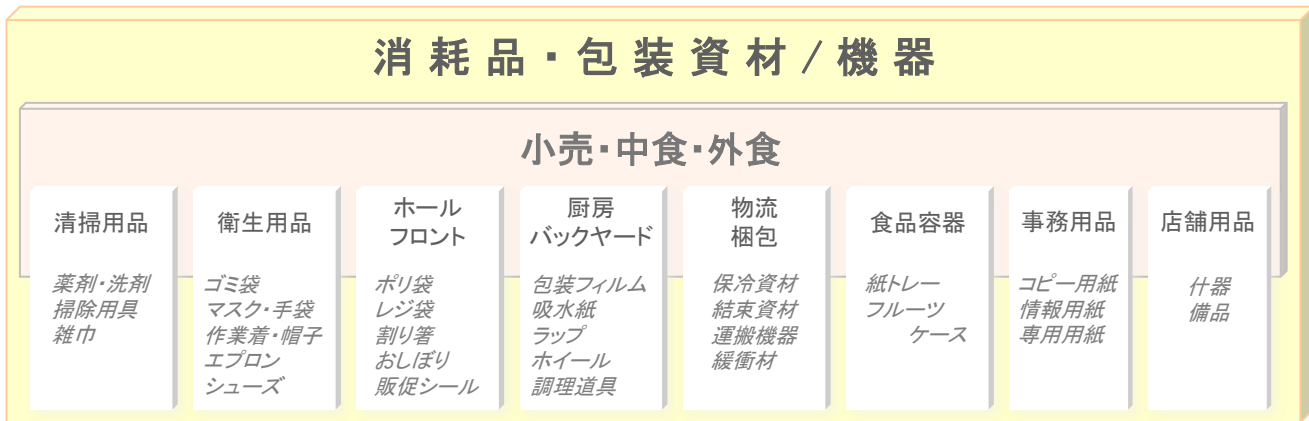
	'03/3	'04/3	'05/3	'06/3	'07/3	'08/3	'09/3	'10/3	'11/3	'12/3	'13/3	'14/3	'15/3	'16/3	'17/3	'18/3	'19/3計画
設備投資	7,096	5,037	2,742	2,394	9,885	10,909	13,007	9,090	12,585	12,423	15,087	20,258	23,377	23,383	21,060	29,891	18,300
有形	6,138	4,248	2,621	2,156	9,523	10,655	12,166	8,827	12,352	12,093	14,783	19,751	23,051	23,058	20,790	29,342	17,950
無形	958	789	120	238	362	254	841	263	233	329	303	506	325	324	269	549	350
内金型	780	460	436	550	771	609	1,892	1,507	1,833	1,946	1,425	2,151	2,416	1,777	2,028	1,485	2,210
減価償却	3,339	4,210	4,134	3,965	4,194	4,742	8,467	8,461	9,316	9,728	9,746	9,703	11,136	9,526	11,183	11,706	13,400
研究開発	654	628	689	751	895	913	965	1,035	1,101	1,051	1,062	1,148	1,105	1,242	1,223	1,197	1,220



# マーケットへの取組

**製品** 市場規模: **5千億円**

**商品** 市場規模: **2.5兆円**



得意分野での  
優位性 確立

新規分野の攻略

問屋 サポート

事業提携・M&A

世界初の素材・機能

エフピコ物流・アイロジック

## エフピコ グループ

製品・素材力 提案力 調達力 物流力 SCM 環境経営 社会責任 インフラ

**エフピコ商事**

包装資材・消耗品 メーカー

# 【施設見学のご案内】

随時受付: 経営企画室 03-5325-7756

## 最新鋭の 生産 ~ 物流 ~ リサイクル をご覧いただけます。

### 関東

JR東日本 古河駅 ~ 30分



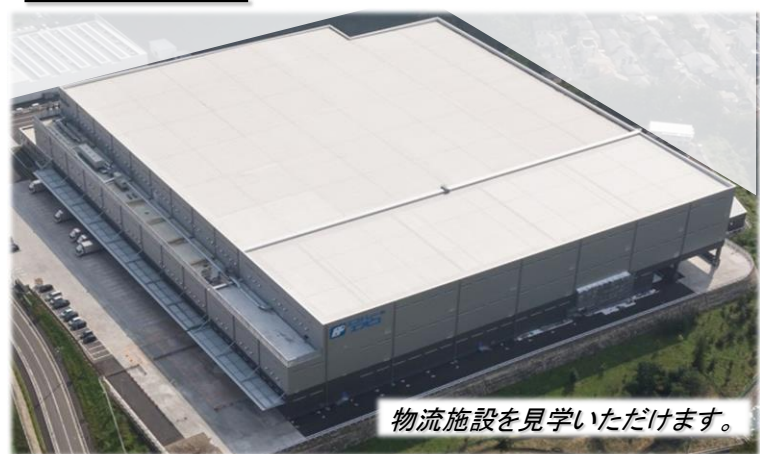
### OPET生産設備



エコペット工場  
2017年8月完成

### 八王子

JR東日本 秋川駅 ~ 20分



### 福山

JR西日本 福山駅 ~ 30分



### 中部

JR東海 岐阜羽島駅 ~ 20分



PET効能リサイクルプラント×2